

4. 年齢を重ねることについて

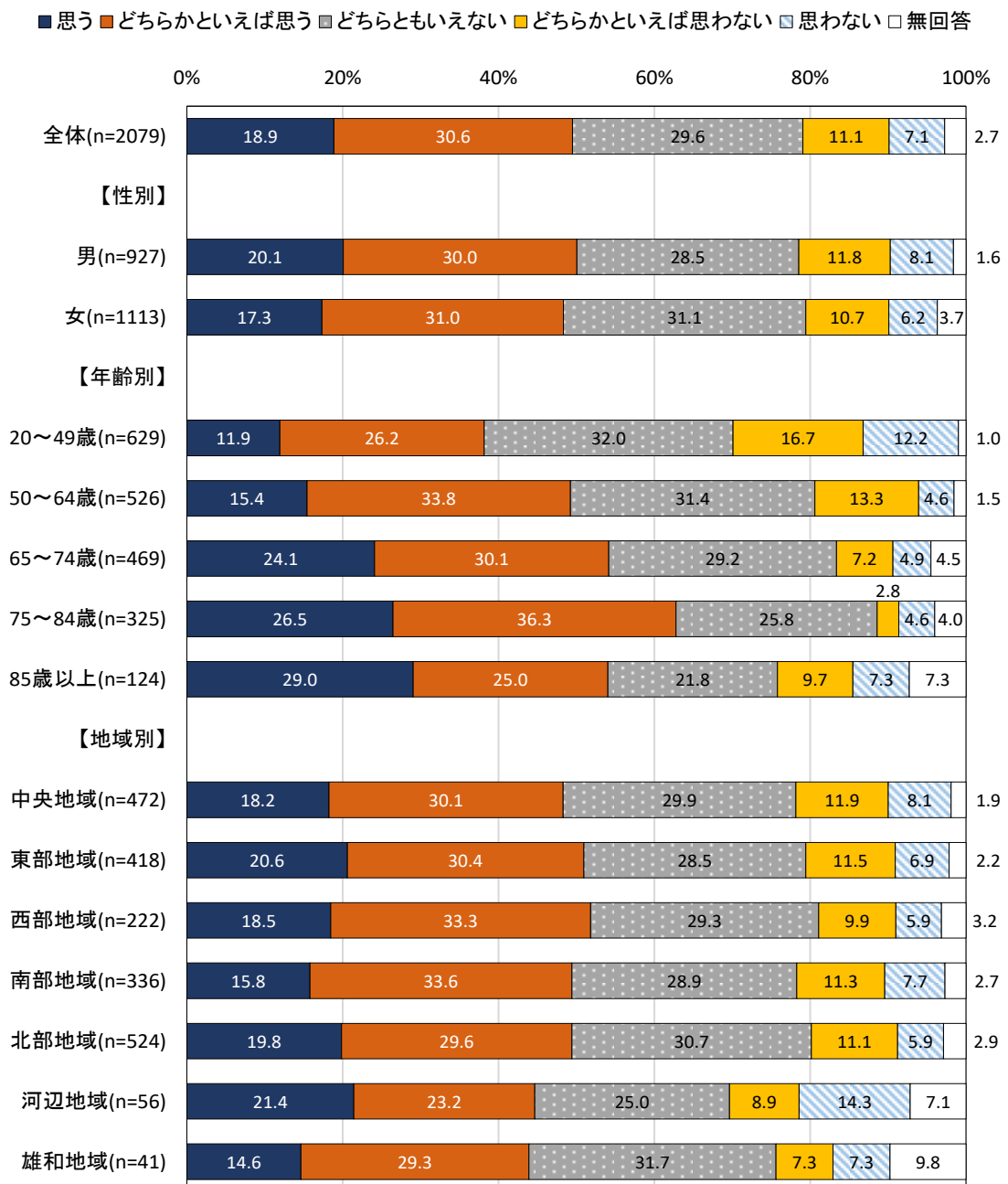
問 19 あなたは、普段生活する中で、年齢を重ねること（長寿）を肯定的にとらえていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

普段生活する中で、年齢を重ねることを肯定的にとらえていると思うかについては、「思う」と「どちらかといえば思う」の合計（以下については“思う”）が49.5%で、一方、「思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計は（以下については“思わない”）は18.2%となり、“思う”が“思わない”の割合を大幅に上回っている。

性別にみると、男女とも“思う”が“思わない”の割合を大きく上回っている。

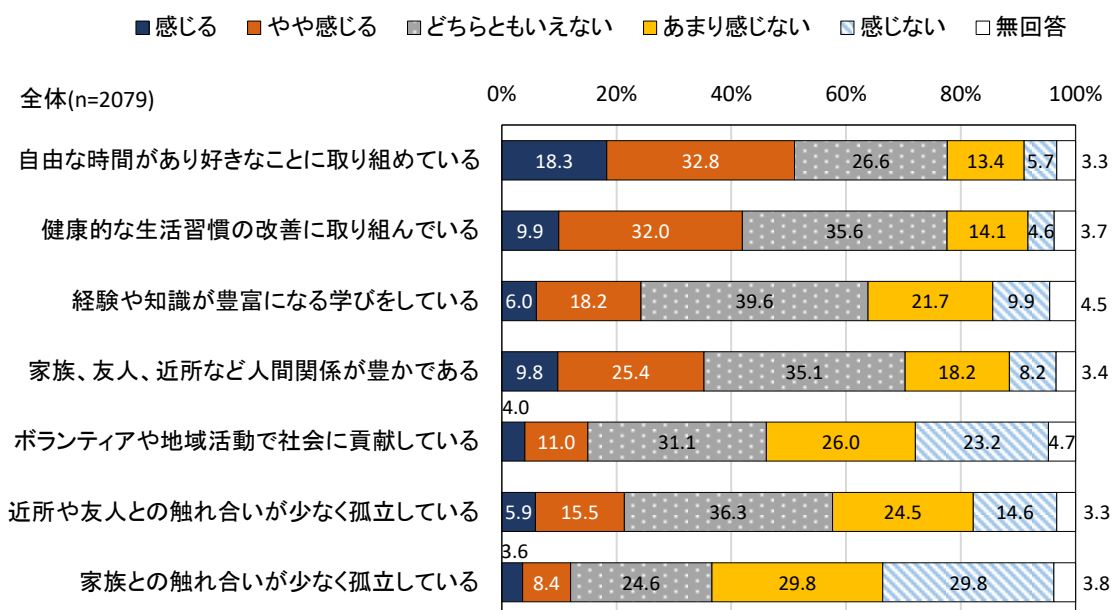
年齢別にみると、各年代で“思う”が高い割合を示し、“思わない”の割合を上回っているが、20～49歳では他の年代に比べて“思う”の割合が低くなっている。

地域別にみると、各地域とも“思う”が高い割合を示し、“思わない”の割合を上回っている。



問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

高齢者となることについてどのように感じているかについては、全体としては自身の老後の取り組み等に肯定的な見方を示しており、孤立していると答えた方も少ないものの、「ボランティアや地域活動で社会に貢献している」と「経験や知識が豊富になる学びをしている」については「感じない」と「あまり感じない」の合計が「感じる」と「やや感じる」の合計を上回っている。



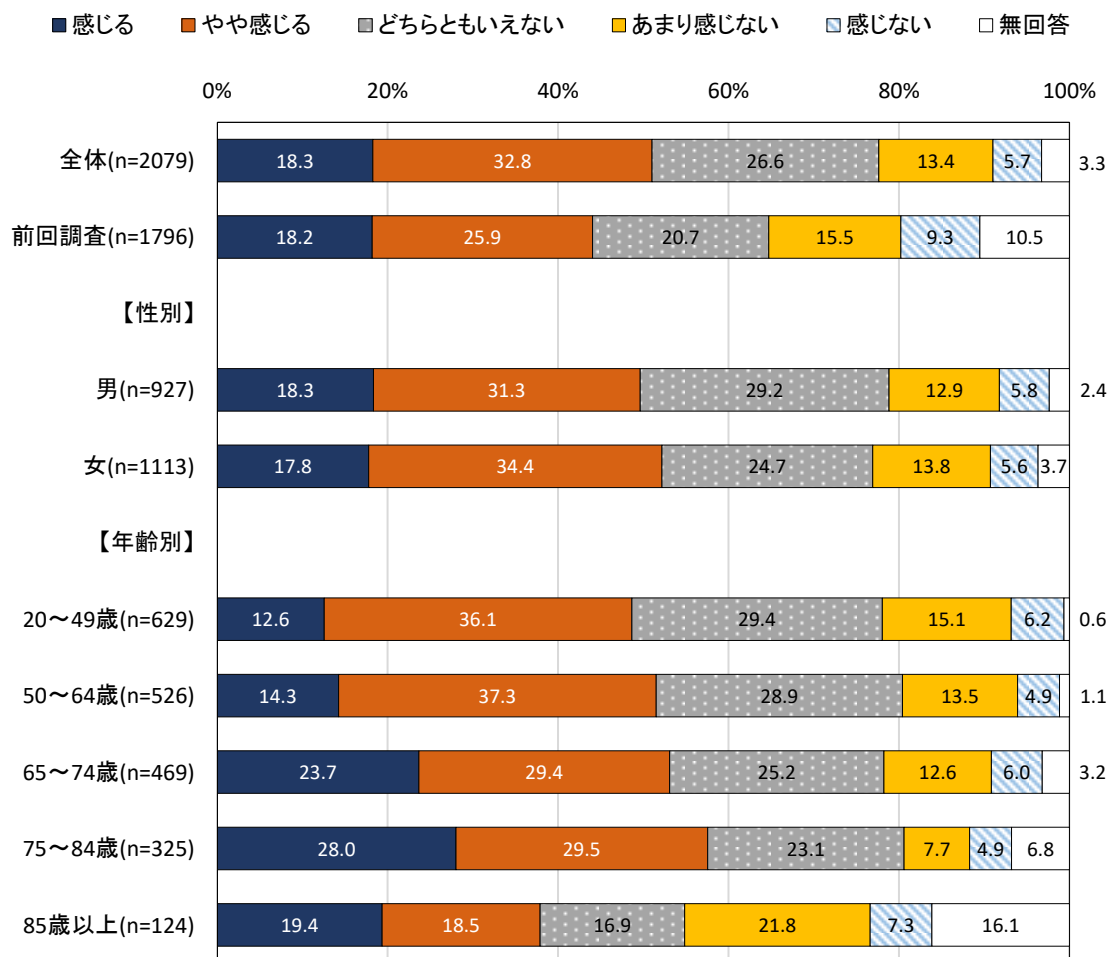
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 自由な時間があり好きなことに取り組んでいる

自由な時間があり好きなことに取り組んでいるかについては、「感じる」(18.3%)と「やや感じる」(32.8%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が51.1%で、一方、「感じない」(5.7%)と「あまり感じない」(13.4%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は19.1%となり、“感じる”が“感じない”の割合を上回っている。“感じるの”割合が前回調査(44.1%)より上昇した一方、“感じない”割合は前回調査(24.8%)より低下しており、好きなことへの取り組みについては改善が見られている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合を示し、“感じる”(男性49.6%、女性52.2%)が“感じない”(男性18.7%、女性19.4%)の割合を上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代でも“感じる”が“感じない”の割合を上回っており、75～84歳には肯定的なとらえ方が他の年代よりも強めに見られる。



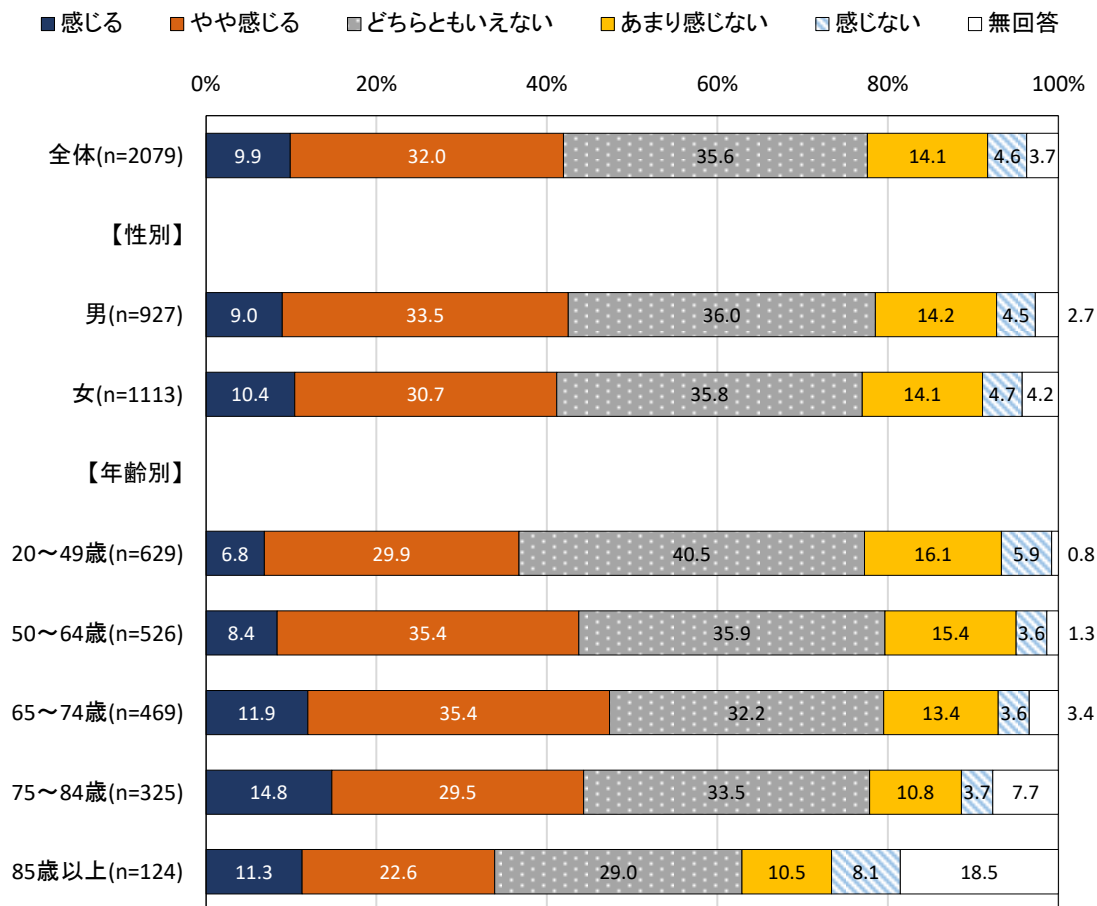
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

2. 健康的な生活習慣の改善に取り組んでいる

健康的な生活習慣の改善に取り組んでいるかについては、「感じる」(9.9%)と「やや感じる」(32.0%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が41.9%で、一方、「感じない」(4.6%)と「あまり感じない」(14.1%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は18.7%となり、“感じる”が“感じない”の割合を上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合を示し、“感じる”(男性42.5%、女性41.1%)が“感じない”(男性18.7%、女性18.8%)の割合を上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代でも“感じる”が“感じない”の割合を上回っており、65～74歳と75～84歳の両年代には肯定的なとらえ方が他の年代よりも強めに見られる。



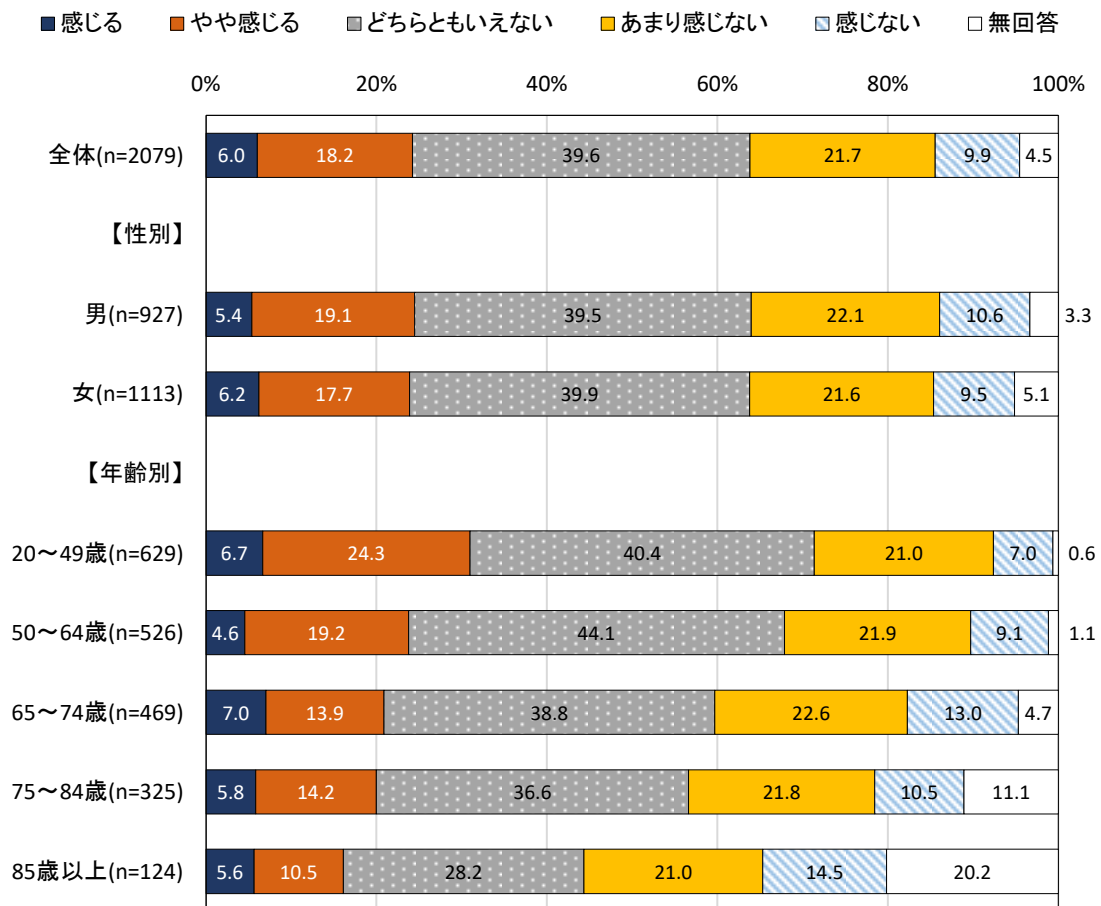
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

3. 経験や知識が豊富になる学びをしている

経験や知識が豊富になる学びをしているかについては、「感じる」(6.0%)と「やや感じる」(18.2%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が24.2%で、一方、「感じない」(9.9%)と「あまり感じない」(21.7%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は31.6%となり、“感じない”が“感じる”の割合を上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合を示し、“感じない”(男性32.7%、女性31.1%)が“感じる”(男性24.5%、女性23.9%)の割合を上回っている。

年齢別にみると、20～49歳では“感じる”が“感じない”の割合を幾分上回っているものの、その他の各年代では“感じない”が“感じる”の割合を上回っており、85歳以上では否定的なとらえ方が他の年代よりも幾分強くうかがえる。



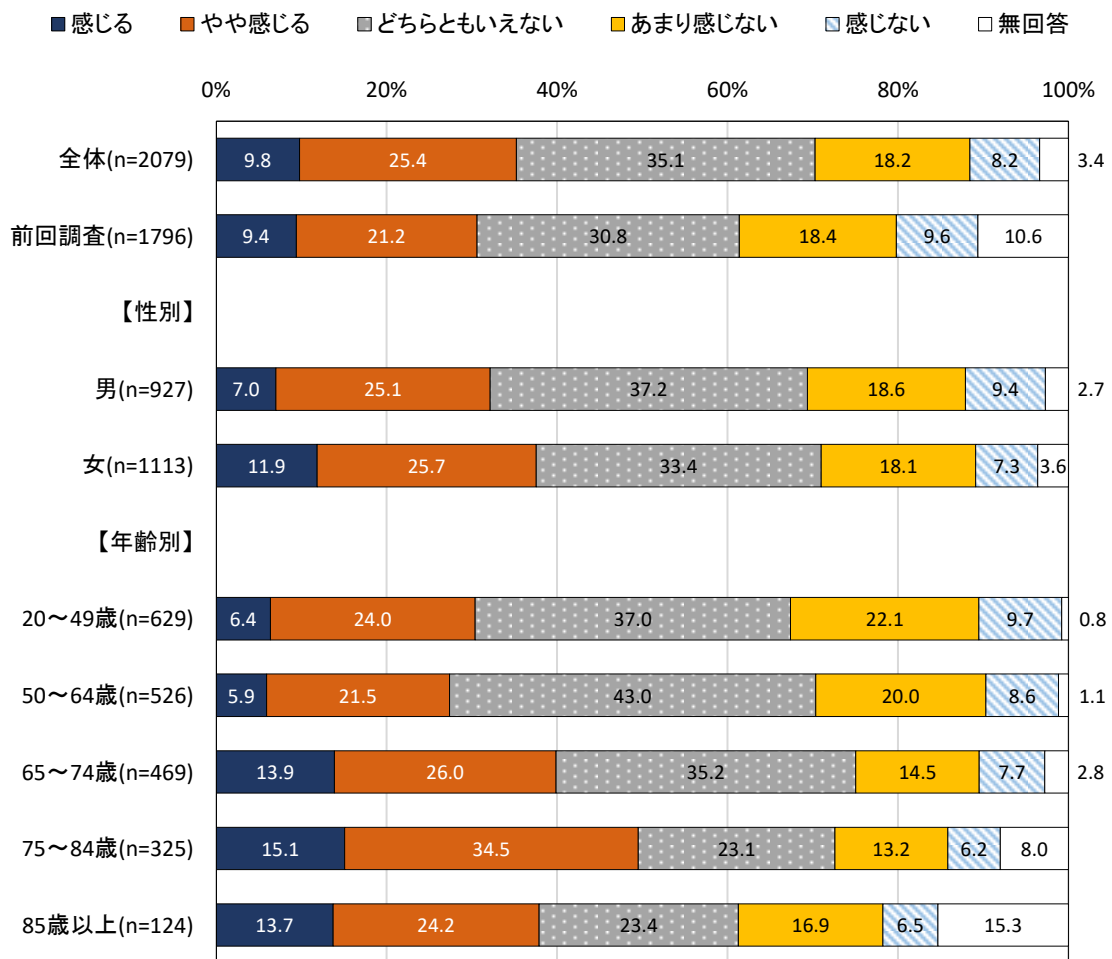
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

4. 家族、友人、近所など人間関係が豊かである

家族や友人、近所などとの人間関係が豊かであるかについては、「感じる」(9.8%)と「やや感じる」(25.4%)を合わせた“感じる”（以下も同じ）の割合が35.2%で、一方、「感じない」(8.2%)と「あまり感じない」(18.2%)を合わせた“感じない”（以下も同じ）の割合は26.4%となり、“感じる”が“感じない”の割合を上回っている。“感じる”の割合が前回調査(30.6%)より上昇した一方、“感じない”割合は前回調査(28.0%)より低下しており、家族等との人間関係の豊かさについては改善が見られている。

性別にみると、男女とも“感じる”（男性32.1%、女性37.6%）が“感じない”（男性28.0%、女性25.4%）の割合を上回っているが、肯定感は女性の方に幾分強く見られる。

年齢別にみると、20～49歳と50～64歳の両年代では“感じない”が“感じる”の割合を幾分上回っているが、65歳以上の各年代ではいずれも“感じる”が“感じない”の割合を上回っている。



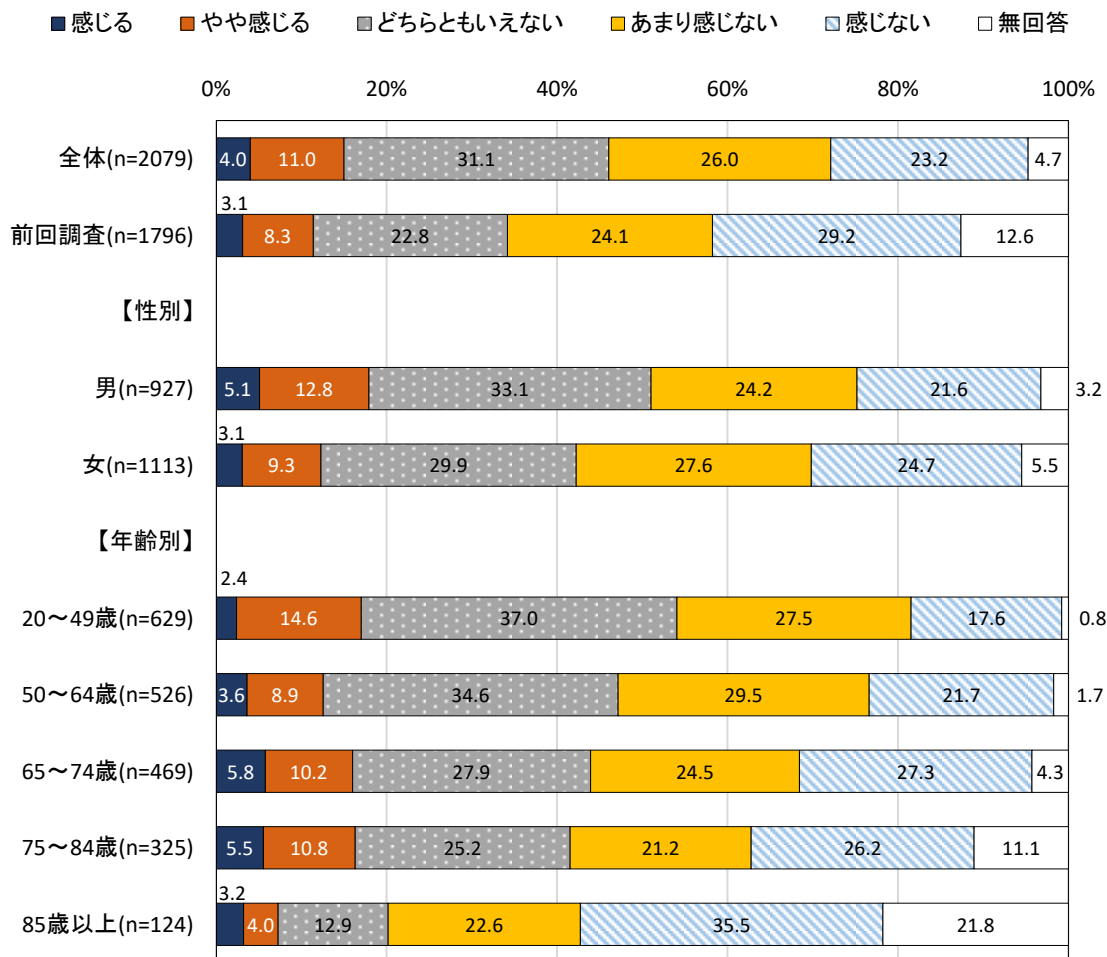
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

5. ボランティアや地域活動で社会に貢献している

ボランティアや地域活動で社会に貢献しているかについては、「感じる」(4.0%)と「やや感じる」(11.0%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が15.0%で、一方、「感じない」(23.2%)と「あまり感じない」(26.0%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は49.2%となり、“感じない”が“感じる”の割合を大幅に上回っている。“感じる”の割合が前回調査(11.4%)より上昇した一方、“感じない”割合は前回調査(53.3%)より低下しており、ボランティア等での社会貢献の意識には改善が見られている。

性別にみると、男女とも“感じない”(男性45.8%、女性52.3%)が“感じる”(男性17.9%、女性12.4%)の割合を上回っており、否定的なとらえ方は女性の方により強くうかがえる。

年齢別にみると、いずれの年代でも“感じない”が“感じる”の割合を大幅に上回っており、85歳以上では否定的なとらえ方が他の年代に比べてより強く見られる。



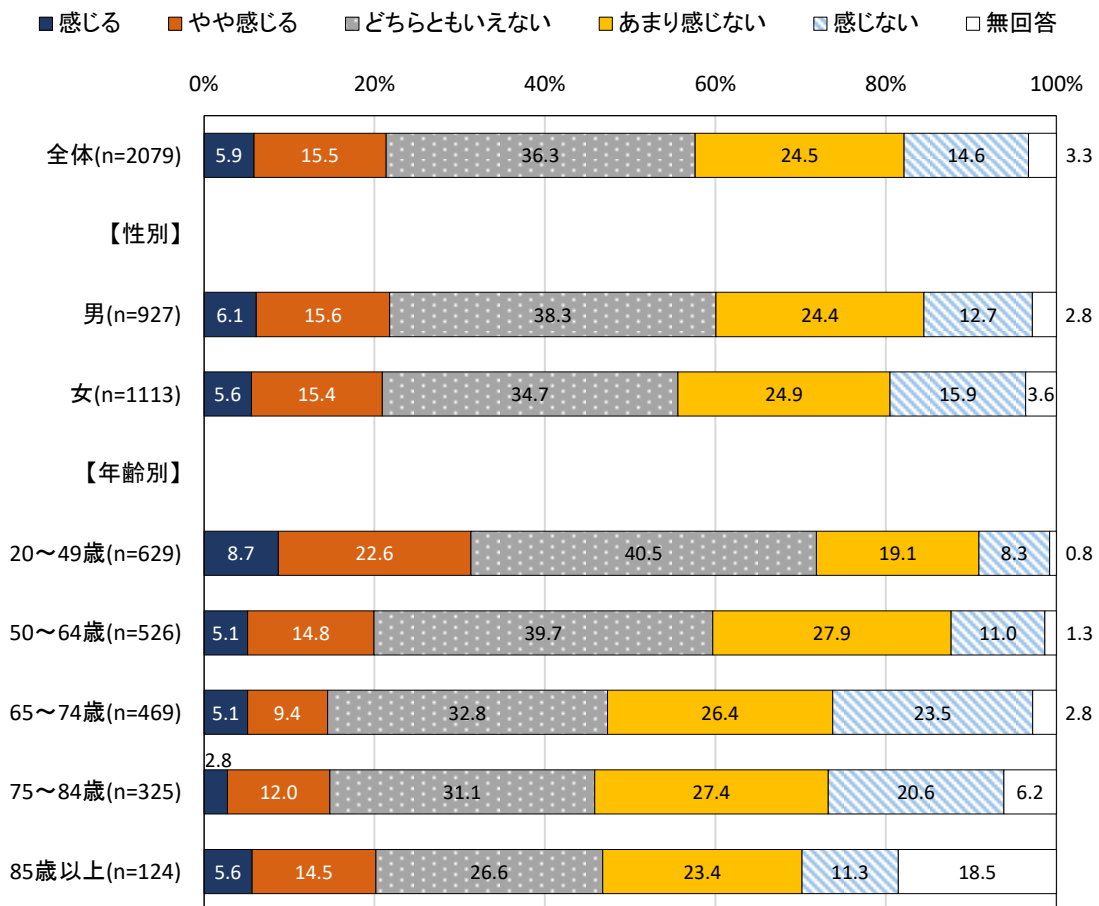
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

6. 近所や友人との触れ合いが少なく孤立している

近所や友人との触れ合いが少なく孤立しているかについては、「感じる」(5.9%)と「やや感じる」(15.5%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が21.4%で、一方、「感じない」(14.6%)と「あまり感じない」(24.5%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は39.1%となり、“感じない”が“感じる”の割合を上回っている。

性別にみると、男女とも“感じない”(男性37.1%、女性40.8%)が“感じる”(男性21.7%、女性21.0%)の割合を上回っているが、孤立感はないとの実感は女性の方に幾分強く見られる。

年齢別にみると、20～49歳では“感じる”が“感じない”の割合を幾分上回っているが、50歳以上の各年代ではいずれも“感じない”が“感じる”の割合を上回っている。



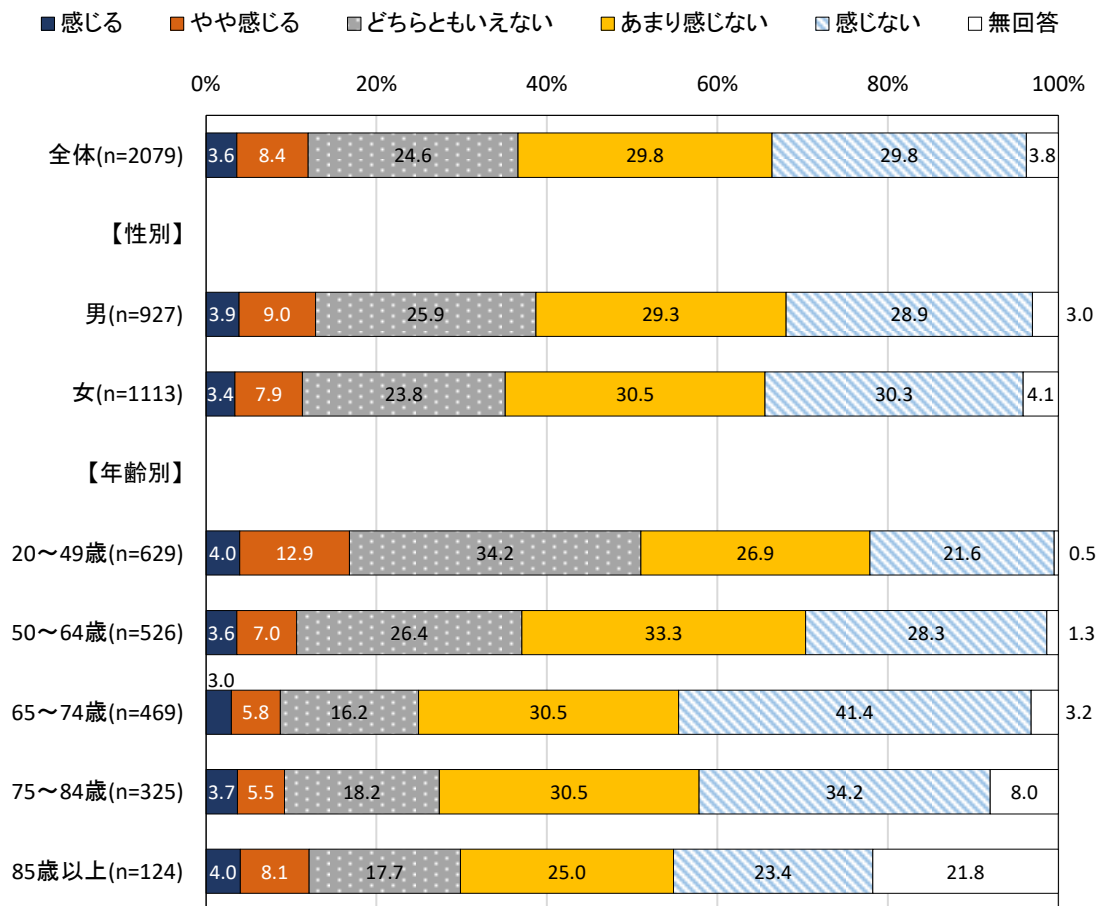
問 20 あなたは、高齢者となることについて（現在高齢者の方を含む）、どのように感じていますか。または、どのように感じると思いますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

7. 家族との触れ合いが少なく孤立している

家族との触れ合いが少なく孤立しているかについては、「感じる」(3.6%)と「やや感じる」(8.4%)を合わせた“感じる”(以下も同じ)の割合が12.0%となり、一方、「感じない」(29.8%)と「あまり感じない」(29.8%)を合わせた“感じない”(以下も同じ)の割合は59.6%で、“感じない”が“感じる”の割合を大幅に上回っており、家族との関係においては孤立感が薄いとと言える。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合を示し、“感じない”(男性58.2%、女性60.8%)が“感じる”(男性12.9%、女性11.3%)の割合を大きく上回っている。

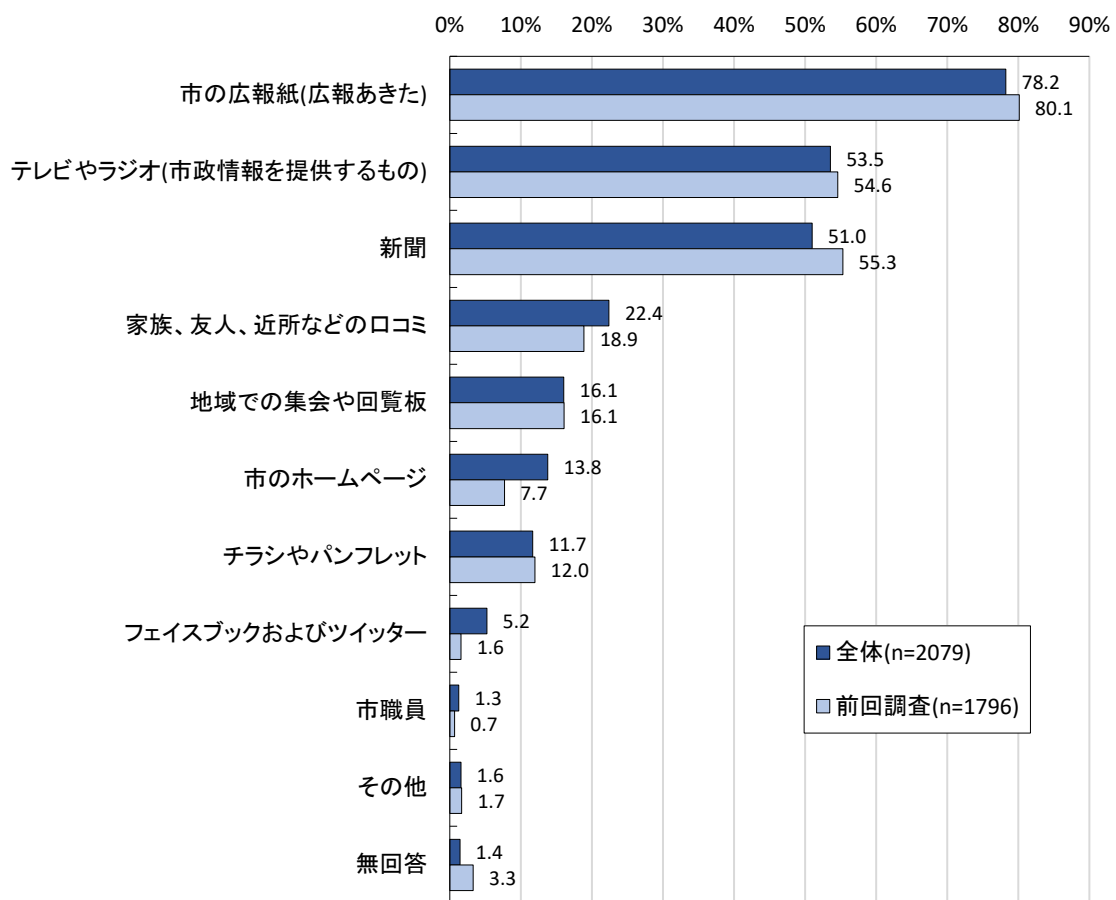
年齢別にみると、65～74歳を始めとして、いずれの年代でも“感じない”が“感じる”の割合を大幅に上回っている。



5. 情報の入手について

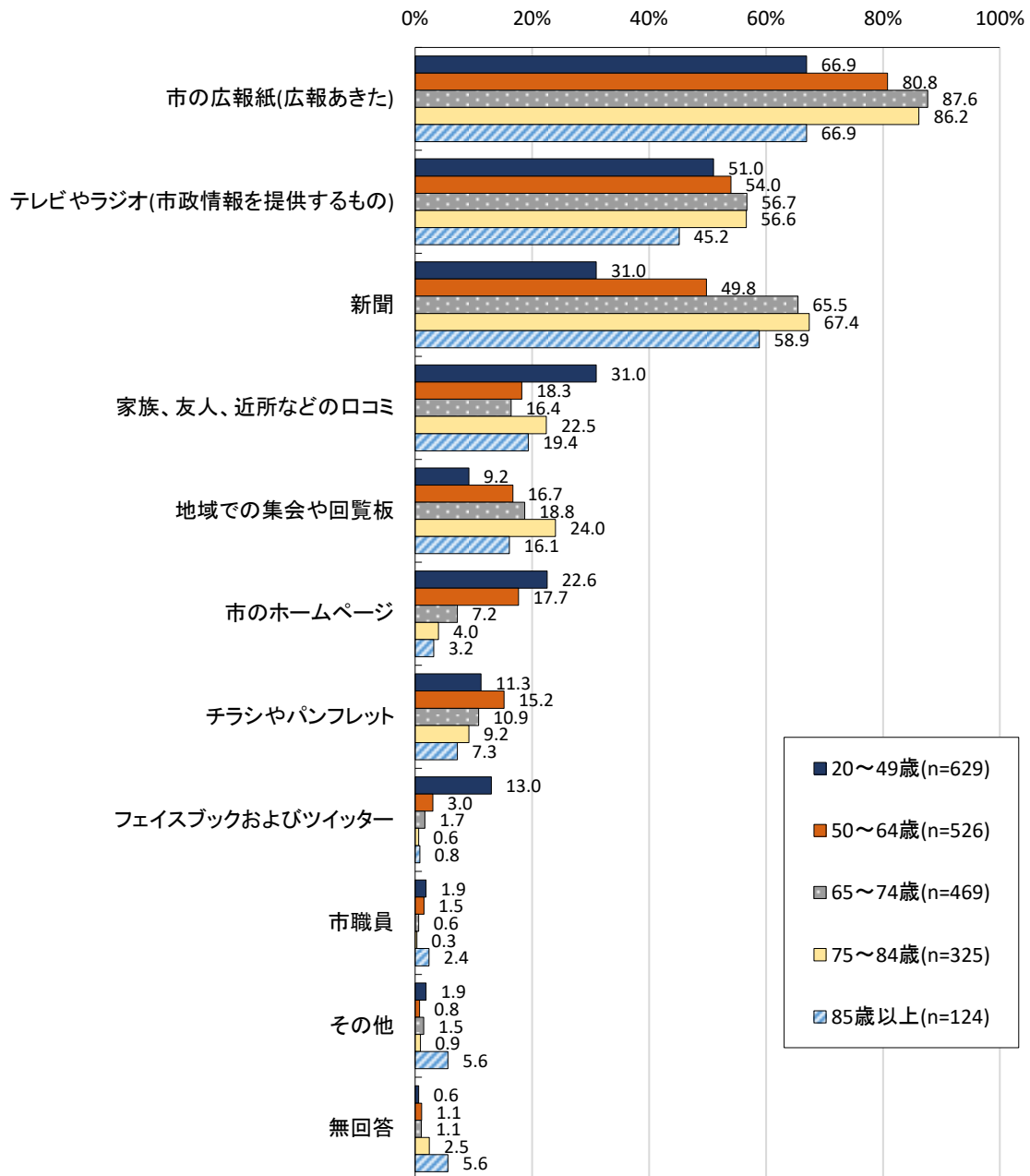
問 21 あなたは市政に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

市政に関する情報の主な入手先については、「市の広報紙(広報あきた)」が78.2%と8割近くを占めて最も割合が高く、これに「テレビやラジオ(市政情報を提供するもの)」(53.5%)と「新聞」(51.0%)が5割台で続いており、これら上位3項目の割合はいずれも前回調査より低下している。以下については、「家族、友人、近所などの口コミ」(22.4%)、「地域での集会や回覧板」(16.1%)、「市のホームページ」(13.8%)などの順となっており、「家族、友人、近所などの口コミ」と「市のホームページ」の割合が前回調査より上昇している。



年齢別にみると、「市の広報紙(広報あきた)」は50～84歳までの各年代で8割台と特に高い割合を占め、その他の年代でも6割台と高い割合となっている。また、「テレビやラジオ(市政情報を提供するもの)」は20～84歳までの各年代でいずれも5割台と半数以上を占めており、「新聞」は65～74歳と75～84歳で6割台と他の年代より高い割合となっている。

【年齢別】

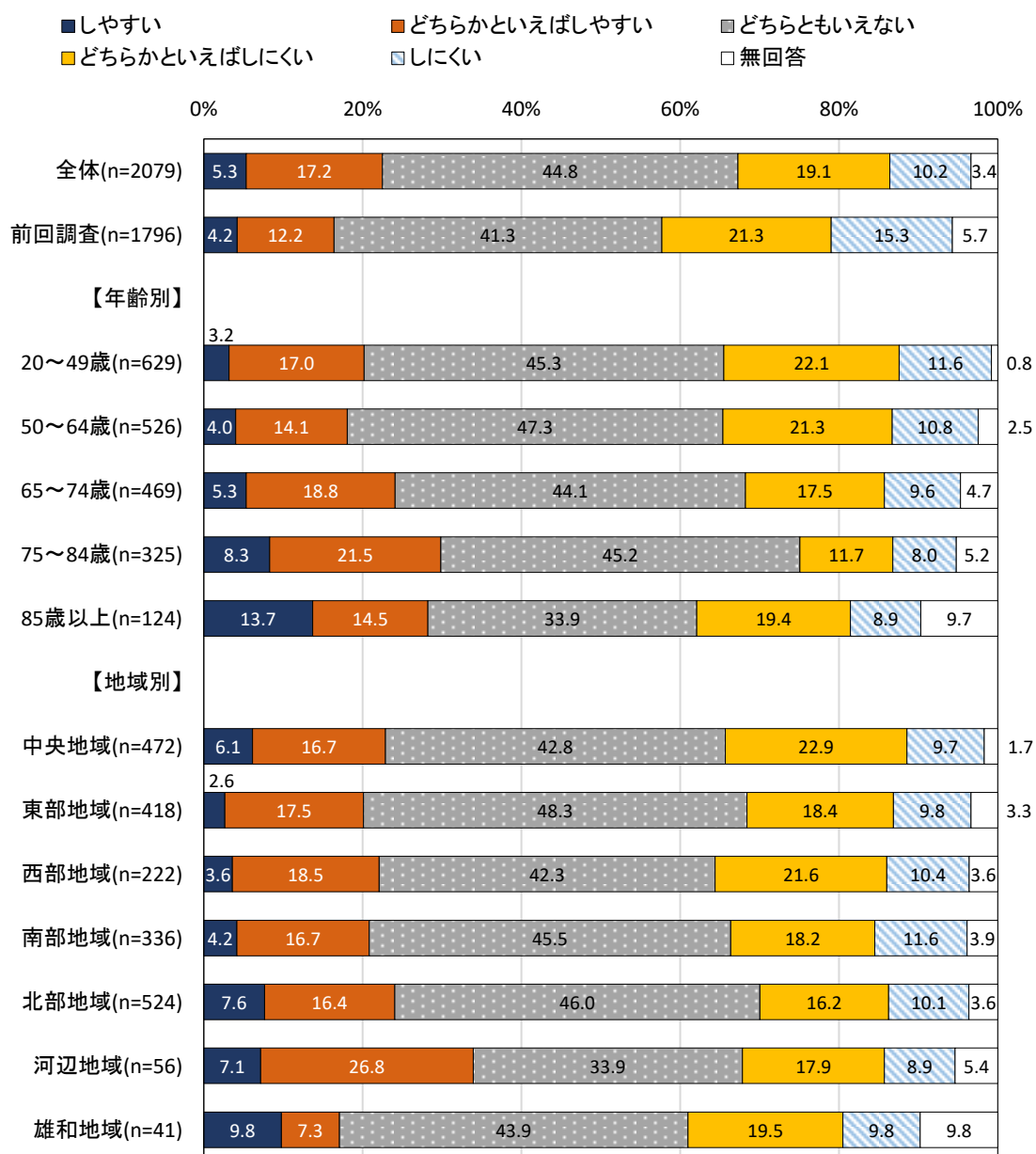


問 22 福祉に関するサービスや相談窓口について、必要な情報を入手しやすいと思いますか。
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

福祉に関するサービスや相談窓口について、必要な情報を入手しやすいと思うかについては、「しやすい」(5.3%)と「どちらかといえばしやすい」(17.2%)を合わせた“しやすい”(以下も同じ)の割合が22.5%で、一方、「しにくい」(10.2%)と「どちらかといえばしにくい」(19.1%)を合わせた“しにくい”(以下も同じ)の割合は29.3%となり、“しにくい”が“しやすい”の割合を上回っている。“しやすい”の割合が前回調査(16.4%)より上昇した一方、“しにくい”割合は前回調査(36.6%)より低下しており、幾分改善が見られている。

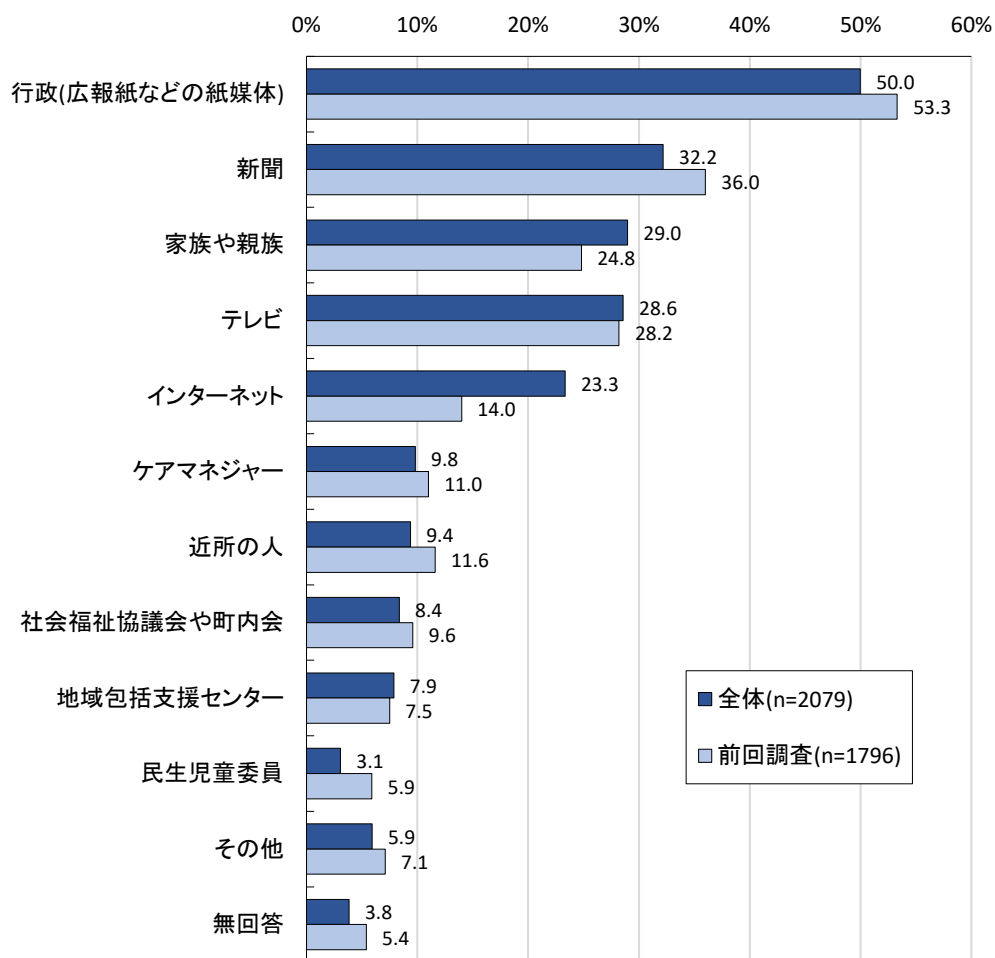
年齢別にみると、75～84歳で“しやすい”が“しにくい”の割合を上回っている。一方、その他の各年代では“しにくい”が“しやすい”の割合を上回っているが、85歳以上では“しやすい”と“しにくい”の割合が拮抗している。

地域別にみると、河辺地域では“しやすい”が“しにくい”の割合を上回っているものの、その他の各地域では“しにくい”が“しやすい”の割合を上回っている。



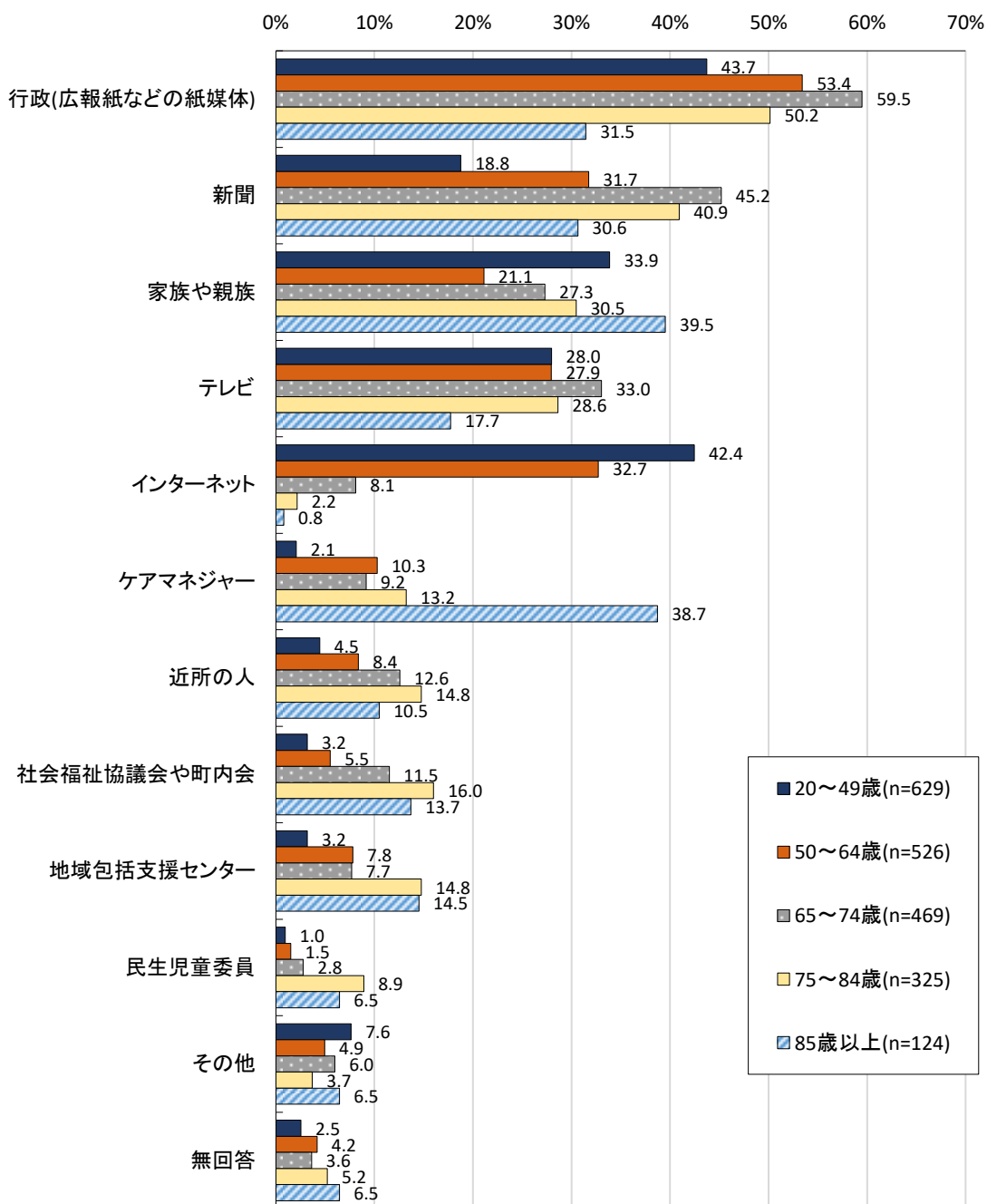
問 23 あなたは、主にどこから福祉サービスや相談窓口に関する情報を入手していますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

福祉サービスや相談窓口に関する情報の主な入手先については、「行政(広報紙などの紙媒体)」が50.0%と半数を占めて最も割合が高く、次いで「新聞」(32.2%)が3割台で続き、この上位2項目の割合はともに前回調査より低下している。以下については、「家族や親族」(29.0%)、「テレビ」(28.6%)、「インターネット」(23.3%)などの順となっており、これらの割合はいずれも前回調査より上昇している。



年齢別にみると、「行政(広報紙などの紙媒体)」は50～84歳までの各年代で5割台と高い割合を占めている。また、「新聞」は65～74歳と75～84歳で4割台、「家族や親族」は85歳以上で4割近くと他の年代より割合が高くなっている。その他の項目では、「インターネット」は20～49歳、「ケアマネジャー」は85歳以上で、それぞれ他の年代に比べて特に高い割合を示している。

【年齢別】



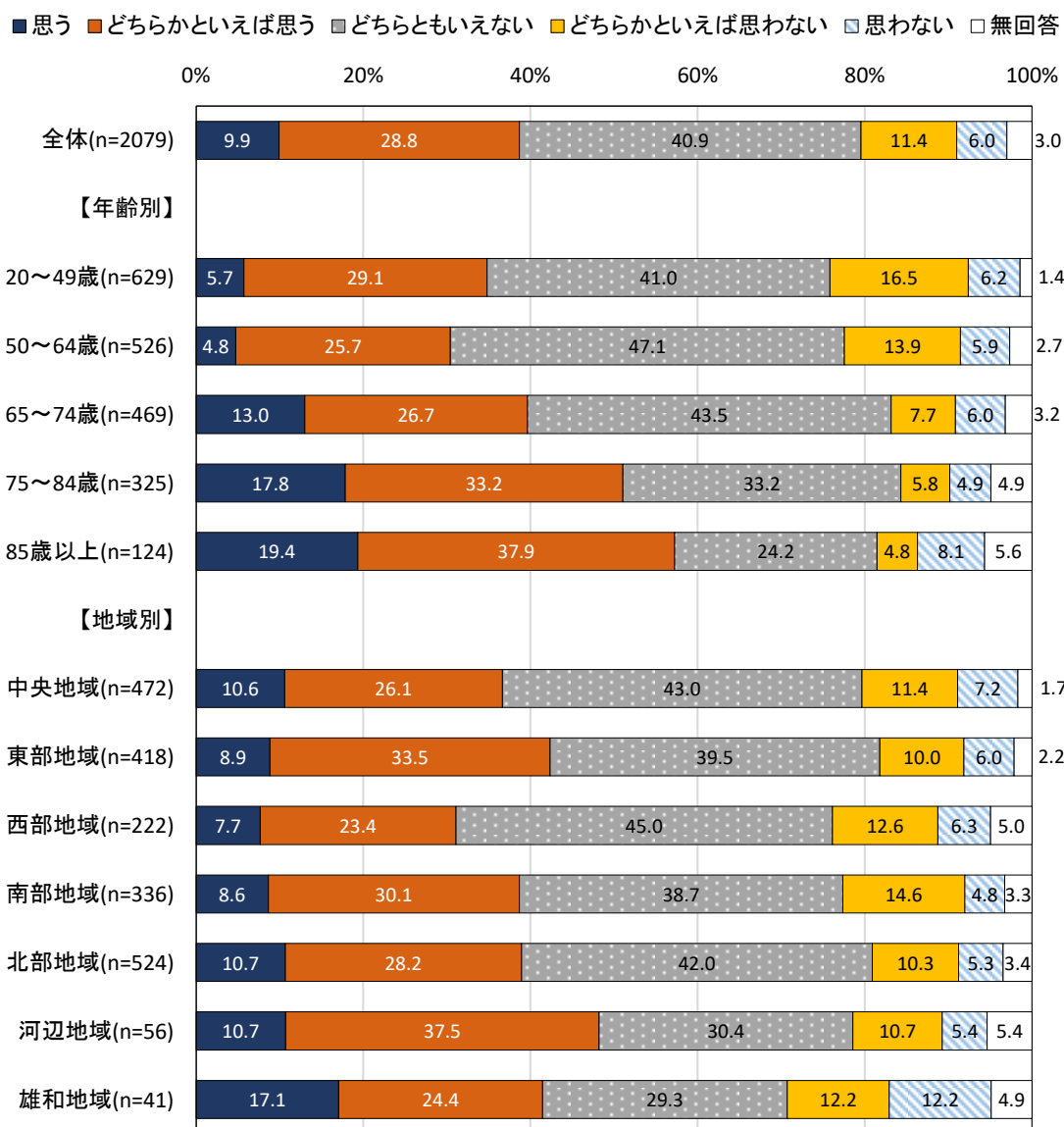
6. 医療および介護・福祉について

問 24 あなたは、普段生活する中で、医療および介護・福祉サービスについて充実していると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

医療および介護・福祉サービスについて充実していると思うかについては、「思う」（9.9%）と「どちらかといえば思う」（28.8%）を合わせた“思う”（以下も同じ）の割合が38.7%で、一方、「思わない」（6.0%）と「どちらかといえば思わない」（11.4%）を合わせた“思わない”（以下も同じ）の割合は17.4%となり、“思う”が“思わない”の割合を上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代でも“思う”が“思わない”の割合を上回っており、“思う”の割合は85歳以上と75～84歳の両年代で5割台と他の年代より高くなっている。

地域別にみると、いずれの地域でも“思う”が“思わない”の割合を上回っており、“思う”の割合は河辺地域で5割近くと他の地域より高くなっている。

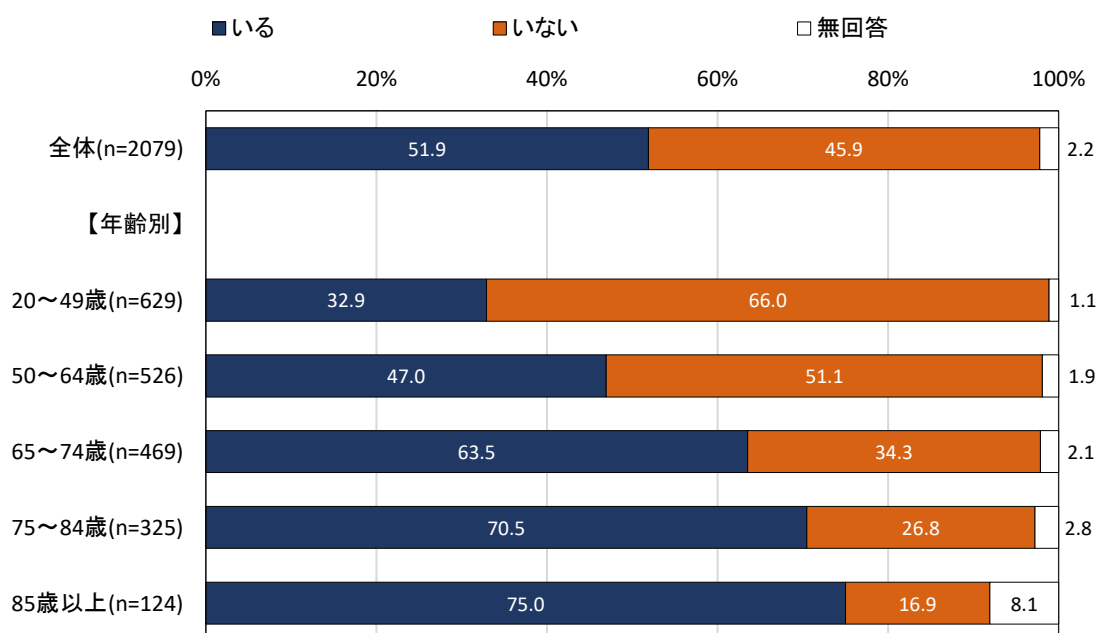


問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

(1) あなたの身近に、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる頼りになる医師（かかりつけ医）がいますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

頼りになる医師（かかりつけ医）の存在については、「いる」の割合が51.9%で、一方、「いない」の割合は45.9%となり、「いる」が「いない」の割合を6.0%上回っている。

年齢別にみると、「いる」の割合は85歳以上で75.0%と最も割合が高く、この割合は年齢が上がるにつれて高くなっており、20～49歳と50～64歳では「いない」が「いる」の割合を上回っているが、65歳以上の各年代では「いる」が「いない」の割合を上回っている。



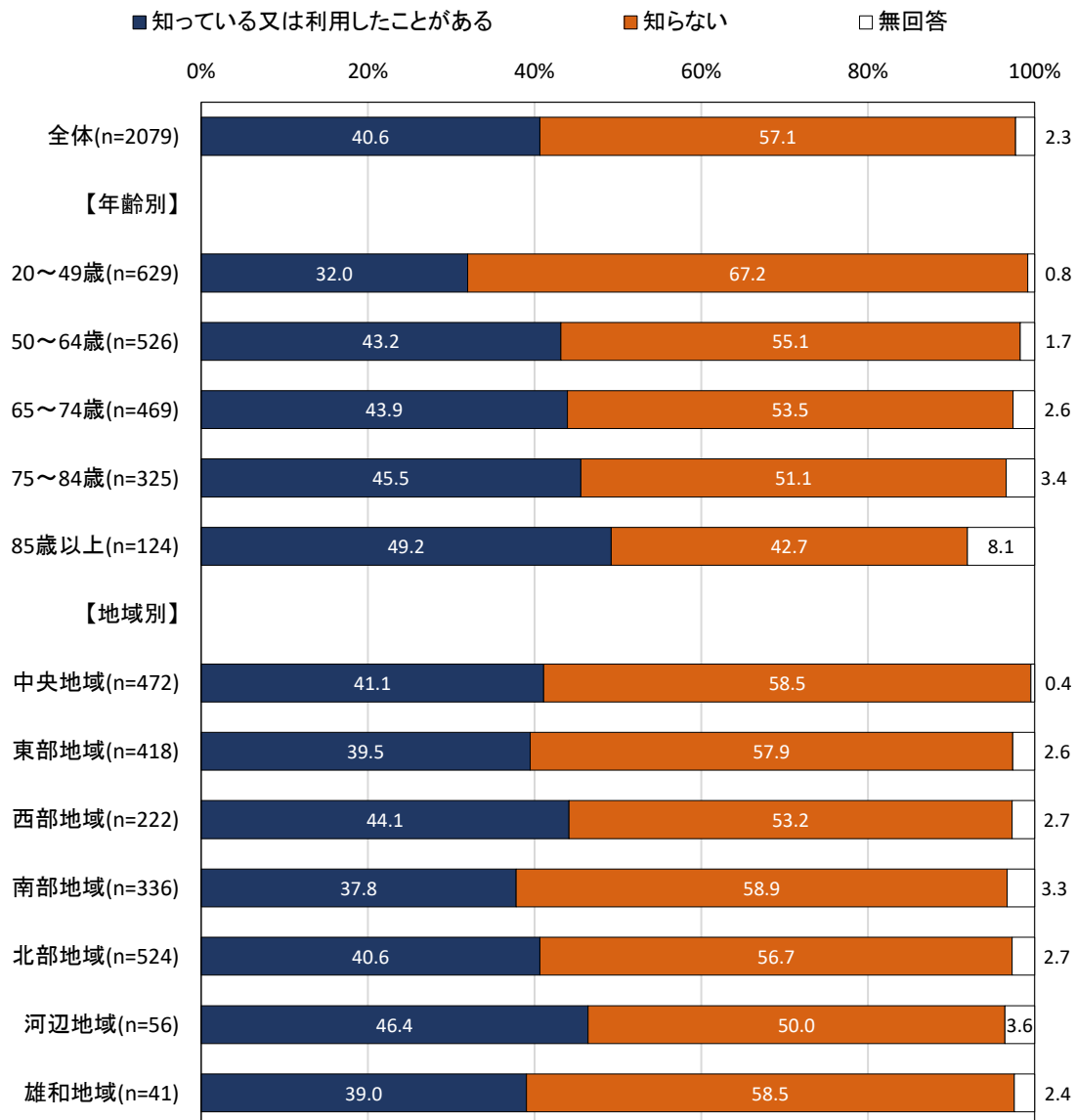
問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

(2) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

地域包括支援センターの認知度については、「知っている又は利用したことがある」の割合が40.6%で、一方、「知らない」の割合は57.1%となり、「知らない」が「知っている又は利用したことがある」の割合を16.5%上回っている。

年齢別にみると、「知っている又は利用したことがある」の割合は年齢が上がるにつれて高くなっており、85歳以上で49.2%と最も割合が高く、「知っている又は利用したことがある」が「知らない」の割合を上回っているが、84歳までの各年代ではいずれも「知らない」が「知っている又は利用したことがある」の割合を上回っている。

地域別にみると、いずれの地域でも「知らない」が「知っている又は利用したことがある」の割合を上回っており、南部地域では「知らない」の割合が58.9%と7地域の中で最も高かった一方、「知っている又は利用したことがある」割合は37.8%と最も低くなっている。

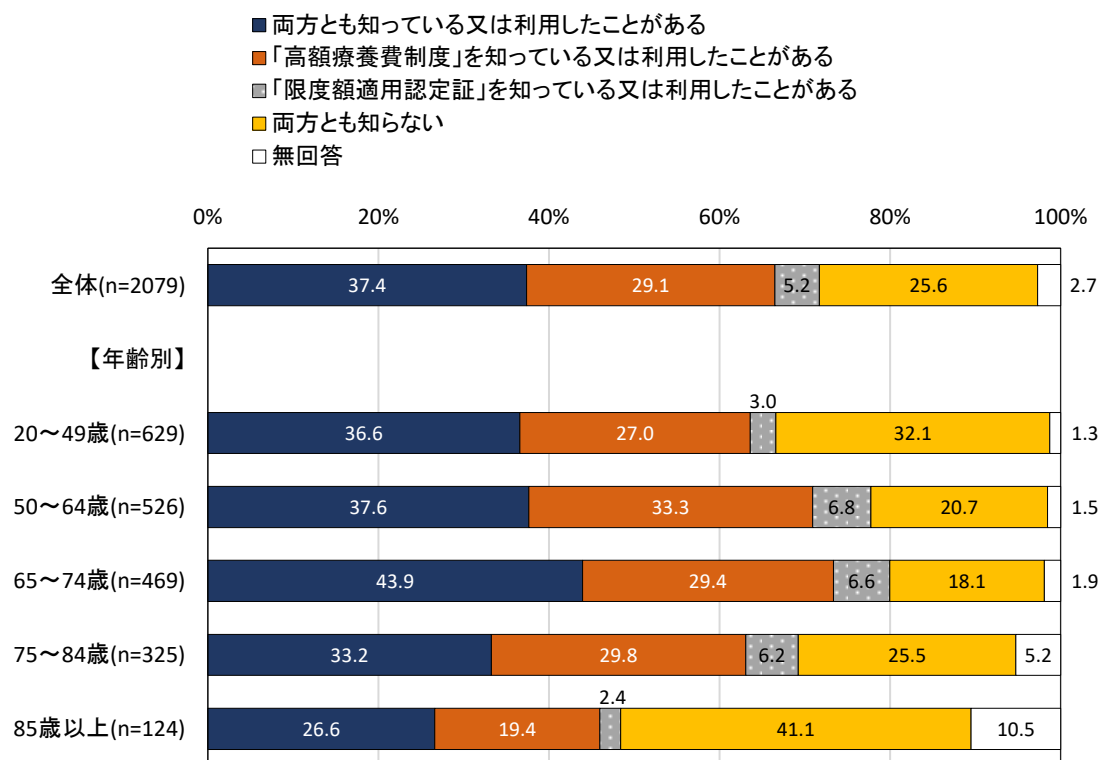


問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

(3) あなたは、医療機関等で支払う医療費が自己負担限度額を超えたとき、その超えた分が申請することにより支給される「高額療養費制度」や、医療費が高額になりそうとき高額療養費制度の自己負担限度額までの支払いにできる「限度額適用認定証」についてご存じですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

高額療養費制度や限度額適用認定証の認知度については、「両方とも知っている又は利用したことがある」が37.4%で最も割合が高く、次いで「高額療養費制度を知っている又は利用したことがある」が29.1%で続き、以下は「両方とも知らない」(25.6%)、「限度額適用認定証を知っている又は利用したことがある」(5.2%)の順となっている。

年齢別にみると、65～74歳の4割台を始めとして、84歳までの各年代では「両方とも知っている又は利用したことがある」の割合が最も高くなったが、85歳以上では「両方とも知らない」が4割台で最も高い割合となっている。また、「限度額適用認定証を知っている又は利用したことがある」はいずれの年代でも1割未満と低い割合となっている。

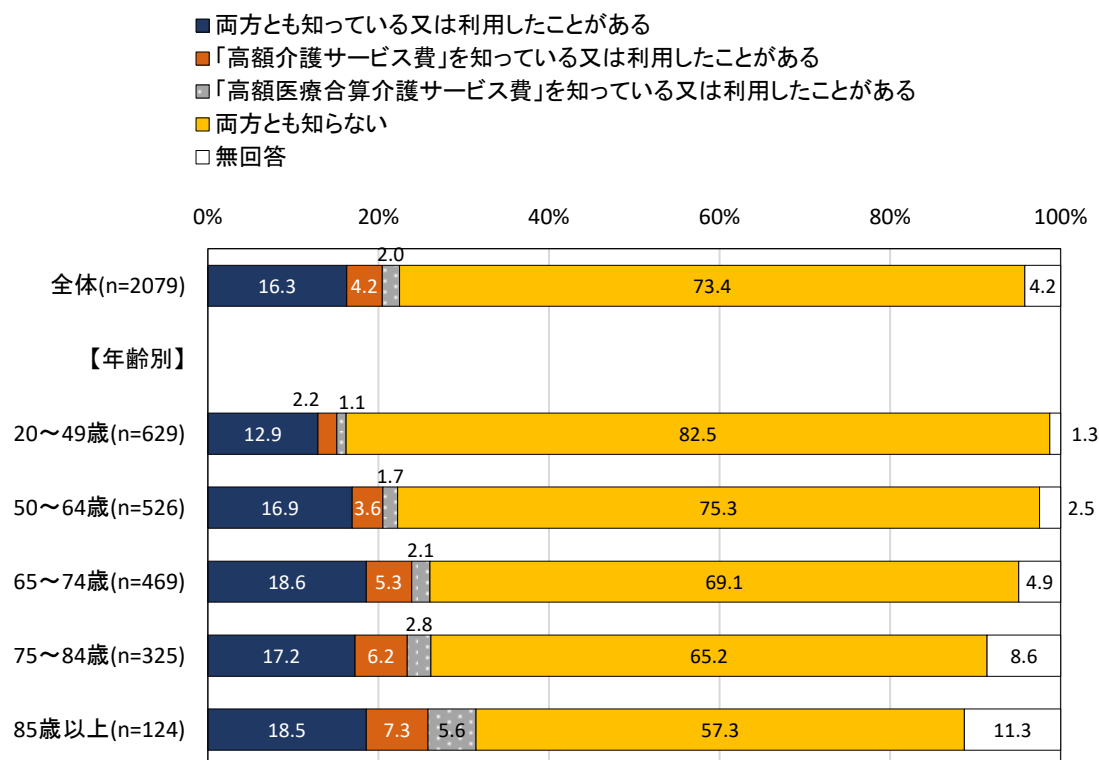


問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

(4) あなたは、介護サービスを利用した場合に支払う利用者負担が上限額を超えたとき、その超えた分が申請することにより支給される「高額介護サービス費」や、1年間に支払った医療保険と介護保険の自己負担額が高額となり、上限額を超えたとき、その超えた分が申請することにより支給される「高額医療合算介護サービス費」についてご存じですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

高額介護サービス費や高額医療合算介護サービス費の認知度については、「両方とも知らない」が73.4%と7割以上を占めて最も割合が高く、次いで「両方とも知っている又は利用したことがある」が16.3%で続き、「高額介護サービス費を知っている又は利用したことがある」(4.2%)と「高額医療合算介護サービス費を知っている又は利用したことがある」(2.0%)はともに1割未満と低い割合となっている。

年齢別にみると、20～49歳の8割台を始めとして、いずれの年代でも「両方とも知らない」が最も高い割合を占め、この割合は年齢が上がるにつれて低くなっている。次いで各年代とも「両方とも知っている又は利用したことがある」が1割台で続き、「高額介護サービス費を知っている又は利用したことがある」と「高額医療合算介護サービス費を知っている又は利用したことがある」はいずれの年代も1割未満と低い割合となったが、これらの割合は年齢が上がるにつれて高くなっている。

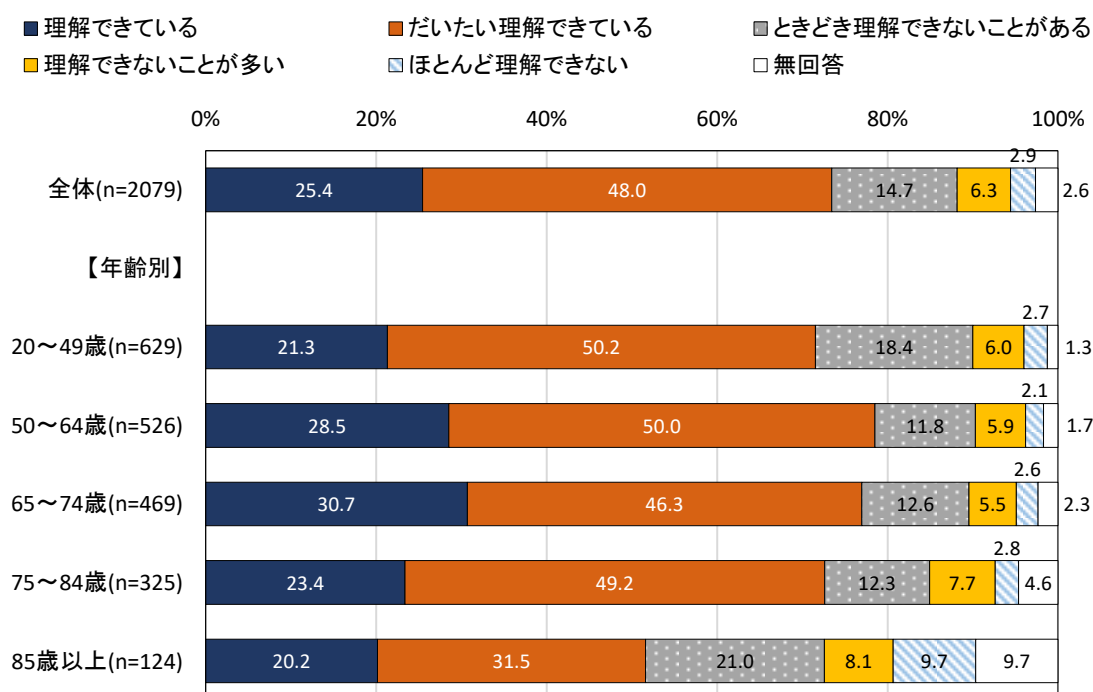


問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

(5) あなたは、医療および介護の専門職からの病状、検査結果、薬などに関する説明について理解できないことがありますか。最も当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

医療および介護の専門職からの病状、検査結果、薬などに関する説明の理解度については、「だいたい理解できている」が48.0%で最も割合が高く、これに「理解できている」(25.4%)を加えた“理解できている”(以下も同じ)の割合は73.4%と7割以上を占めた。一方、「ときどき理解できないことがある」(14.7%)、「理解できないことが多い」(6.3%)、「ほとんど理解できない」(2.9%)を合わせた“理解できていない”の割合は23.9%となっている。

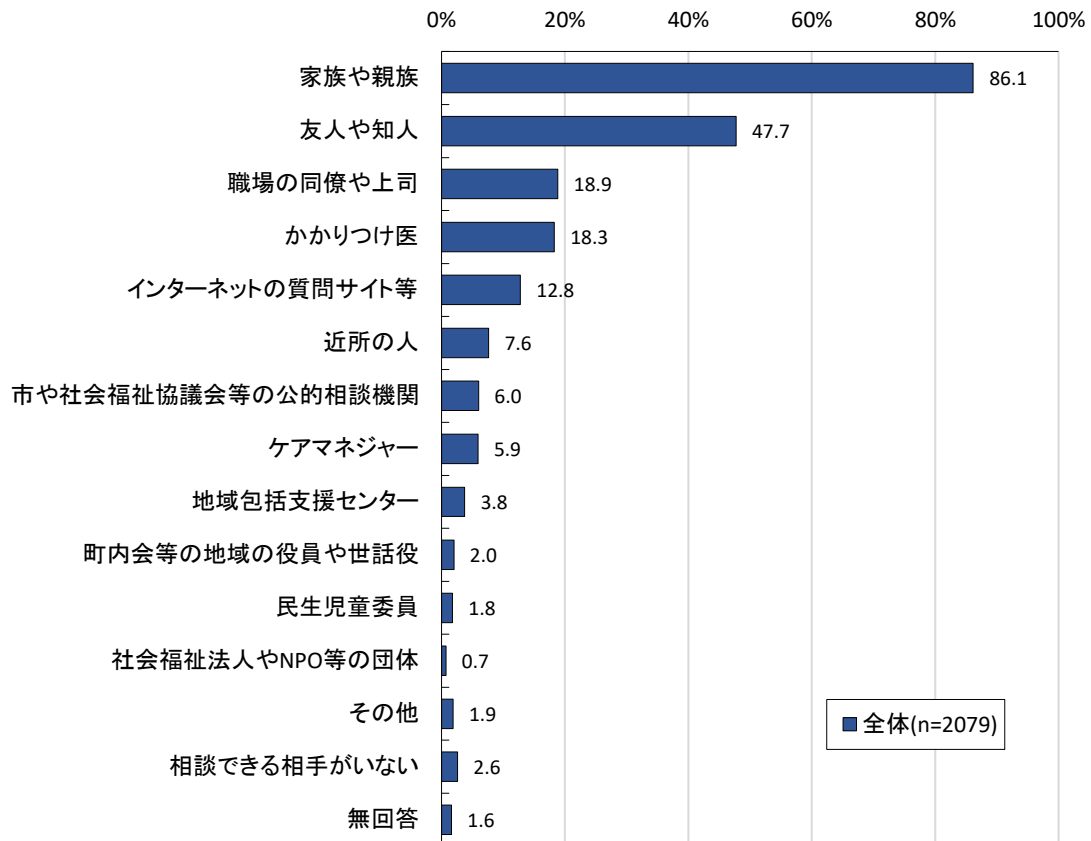
年齢別にみると、“理解できている”の割合は50～64歳の78.5%を始めとして、84歳までの各年代では7割台を占めたが、85歳以上では51.7%と5割強にとどまっている。一方、“理解できていない”の割合は、85歳以上で38.8%と他の年代より割合が高くなっている。



問 25 医療および介護・福祉に関する利用状況等について、お伺いします。

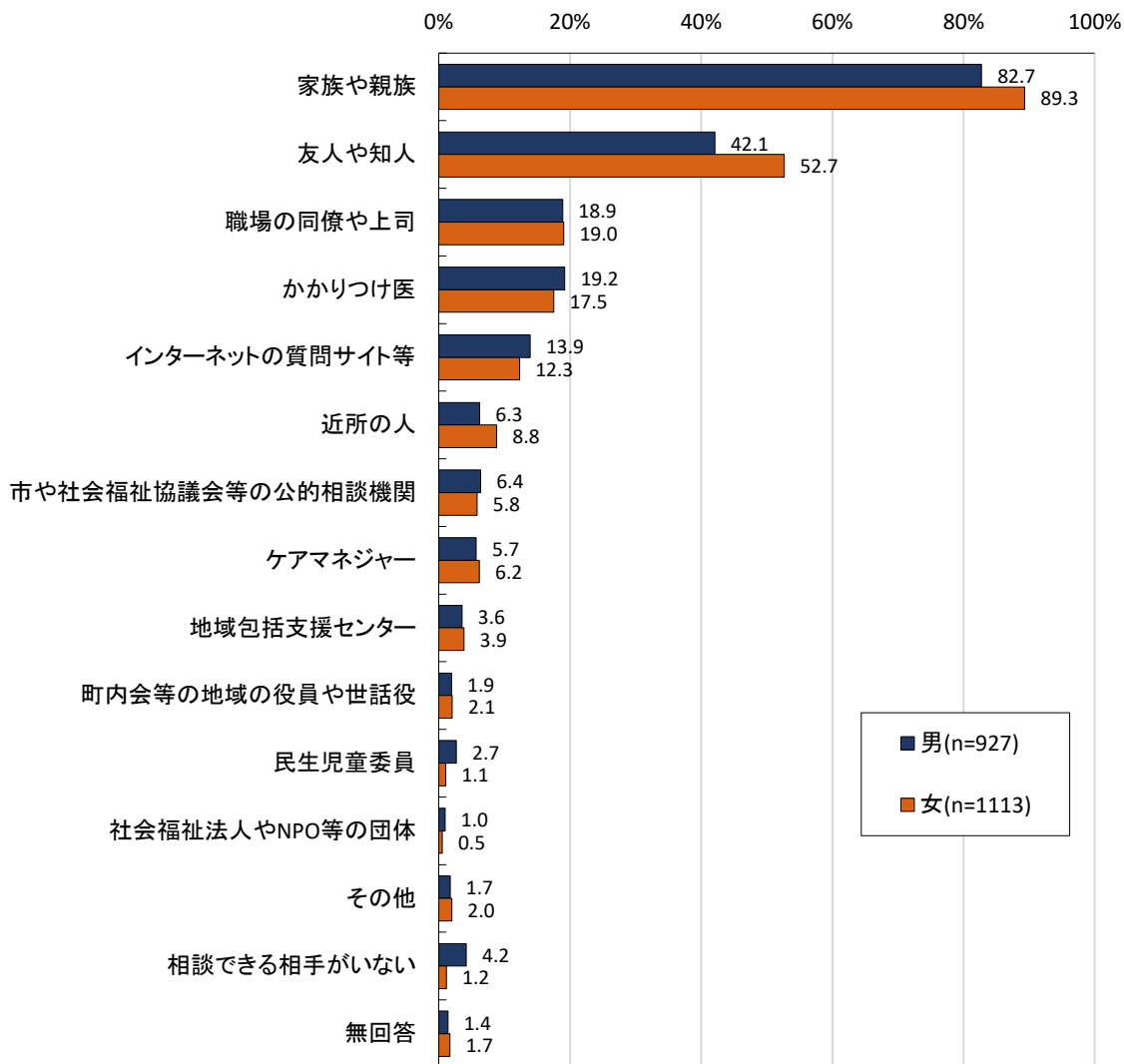
(6) あなたは、普段の生活で困ったことがあったとき、どなたに相談しますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

普段の生活で困ったことがあったときの相談先については、「家族や親族」が 86.1%と8割以上を占めて最も割合が高く、次いで「友人や知人」(47.7%)が4割台で続き、この上位2項目が高い割合となっている。以下については、「職場の同僚や上司」(18.9%)、「かかりつけ医」(18.3%)、「インターネットの質問サイト等」(12.8%)などの順となっている。



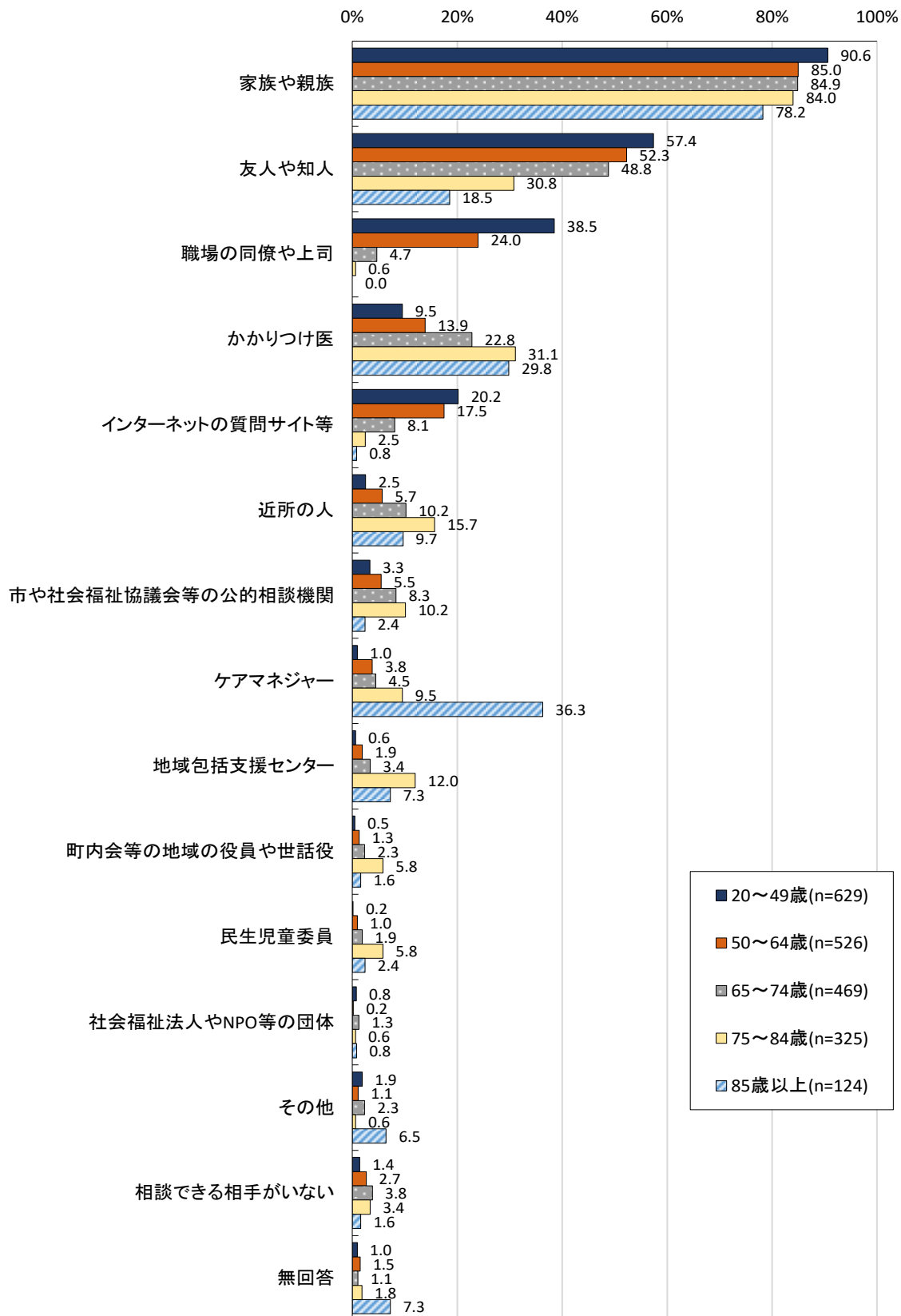
性別にみると、男女とも「家族や親族」の割合（男性 82.7%、女性 89.3%）が最も高く、次いで「友人や知人」（男性 42.1%、女性 52.7%）が続いているが、この両項目の割合は女性の方が高くなっている。以下については、男女とも「職場の同僚や上司」（男性 18.9%、女性 19.0%）、「かかりつけ医」（男性 19.2%、女性 17.5%）、「インターネットの質問サイト等」（男性 13.9%、女性 12.3%）が続き、上位 5 項目については男女とも同様の順位となっている。

【性別】



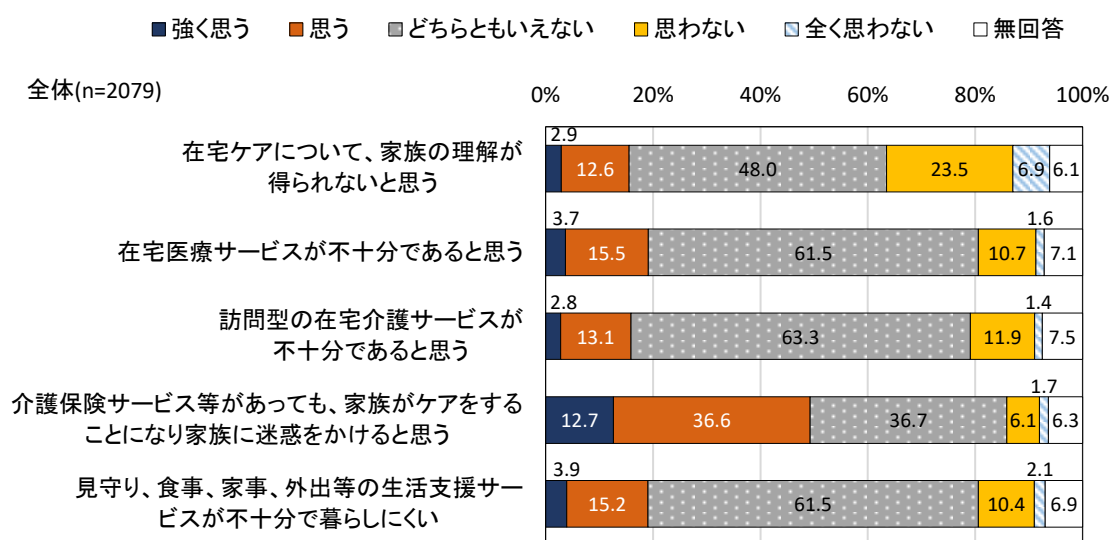
年齢別にみると、20～49歳の90.6%を始めとして、いずれの年代でも「家族や親族」が最も高い割合を占め、次いで74歳までの各年代では「友人や知人」、75～84歳と85歳以上では「かかりつけ医」が続いている。他の相談先をみると、「職場の同僚や上司」と「インターネットの質問サイト等」は20～49歳と50～64歳の割合が他の年代より高く、「ケアマネジャー」は85歳以上で他の年代に比べて特に割合が高いなど、相談先については年代間で違いが見られる。

【年齢別】



問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために思うことについては、各項目において「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。「強く思う」と「思う」を合わせた“思う”（以下も同じ）と「全く思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”（以下も同じ）の割合をみると、「在宅ケアについて、家族の理解が得られない」については“思わない”（30.4%）が“思う”（15.5%）の割合を上回っている。一方、その他の各項目については“思う”が“思わない”の割合を上回っており、中でも「介護保険サービス等があっても、家族がケアをすることになり家族に迷惑をかける」については“思う”（49.3%）が“思わない”（7.8%）の割合を大幅に上回っている。



問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅でうけるために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

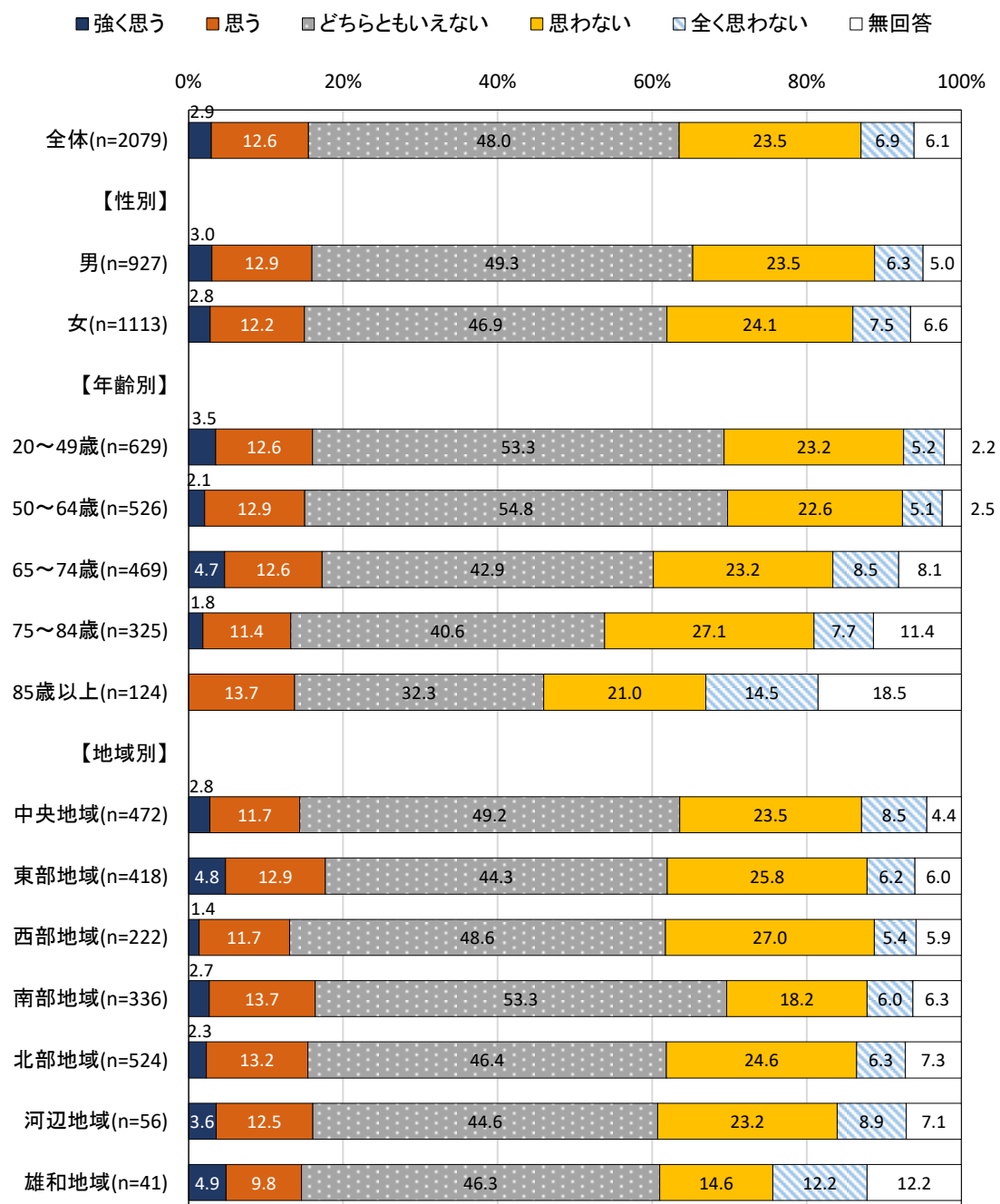
1. 在宅ケアについて、家族の理解が得られないと思う

「在宅ケアについて家族の理解が得られない」については、「どちらともいえない」の割合が48.0%と最も高く、“思わない”（30.4%）が“思う”（15.5%）の割合を上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“思わない”が“思う”の割合を上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代でも“思わない”が“思う”の割合を上回っており、“思わない”の割合は年齢が上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、いずれの地域でも“思わない”が“思う”の割合を上回っている。



問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

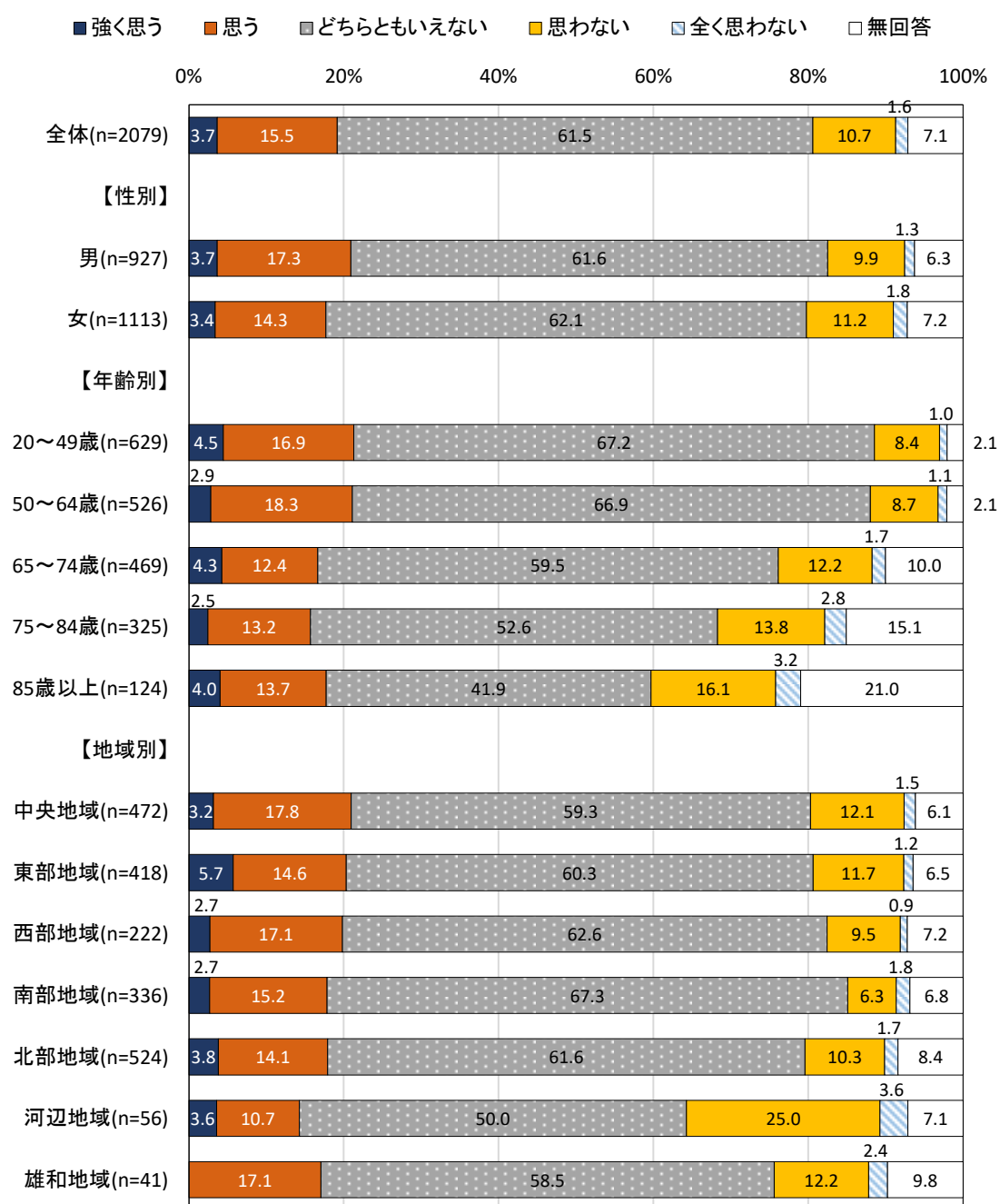
2. 在宅医療サービスが不十分であると思う

「在宅医療サービスが不十分である」については、「どちらともいえない」の割合が61.5%と最も高く、「思う」(19.2%)が「思わない」(12.3%)の割合を小幅ながら上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、「思う」が「思わない」の割合を上回っている。

年齢別にみると、74歳までの各年代では「思う」が「思わない」の割合を上回っているが、75～84歳と85歳以上の両年代では「思わない」が「思う」の割合を小幅ながら上回っている。

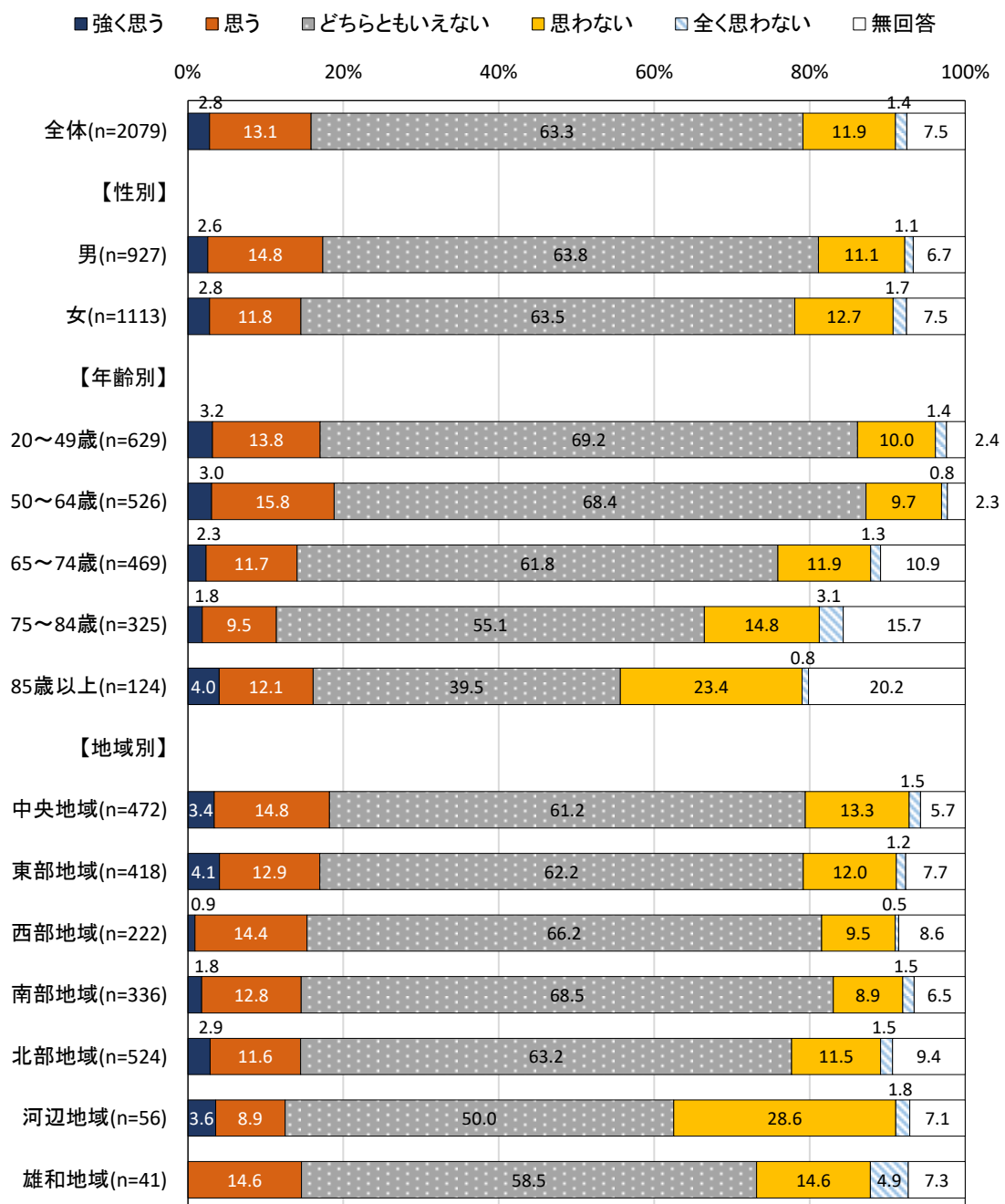
地域別にみると、河辺地域で「思わない」が「思う」の割合を上回っているが、その他の地域ではいずれも「思う」が「思わない」割合を小幅ながら上回っている。



問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

3. 訪問型の在宅介護サービスが不十分であると思う

「訪問型の在宅介護サービスが不十分である」については、「どちらともいえない」の割合が63.3%と最も高く、“思う”（15.9%）が“思わない”（13.3%）の割合を僅かに上回っている。性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“思う”が“思わない”の割合を上回っている。年齢別にみると、74歳までの各年代では“思う”が“思わない”の割合を小幅ながら上回っているが、75～84歳と85歳以上の両年代では“思わない”が“思う”の割合を上回っている。地域別にみると、河辺地域と雄和地域では“思わない”が“思う”の割合を上回っているが、その他の地域ではいずれも“思う”が“思わない”割合を小幅ながら上回っている。



問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

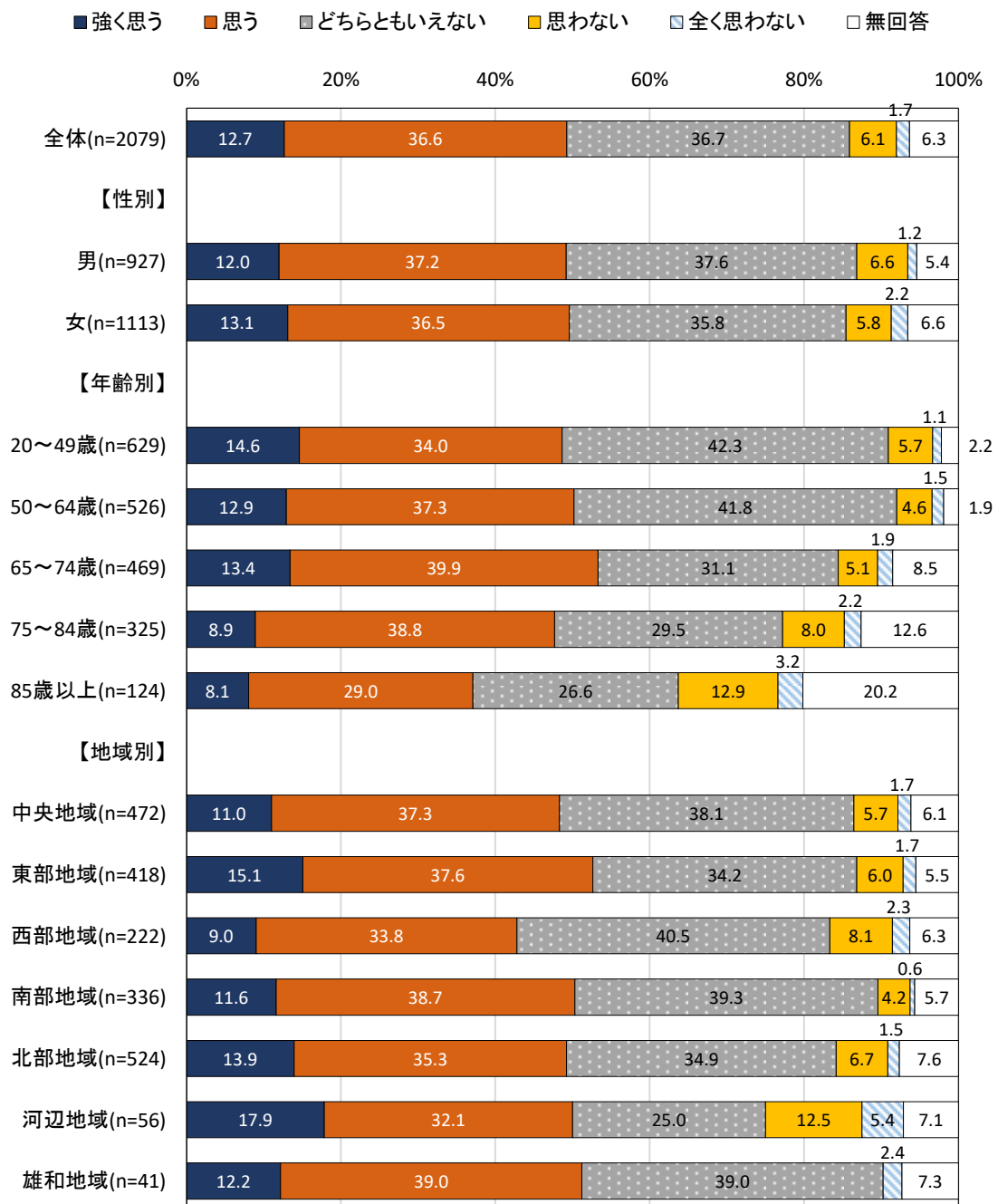
4. 介護保険サービス等があっても、家族がケアをすることになり家族に迷惑をかけると思う

「介護保険サービス等があっても、家族がケアをすることになり家族に迷惑をかける」については、“思う”（49.3%）が“思わない”（7.8%）の割合を大幅に上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“思う”が“思わない”の割合を上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代でも“思う”が“思わない”の割合を大幅に上回っているが、85歳以上では“思わない”の割合が他の年代より幾分高くなっている。

地域別にみると、いずれの地域でも“思う”が“思わない”の割合を大幅に上回っている。

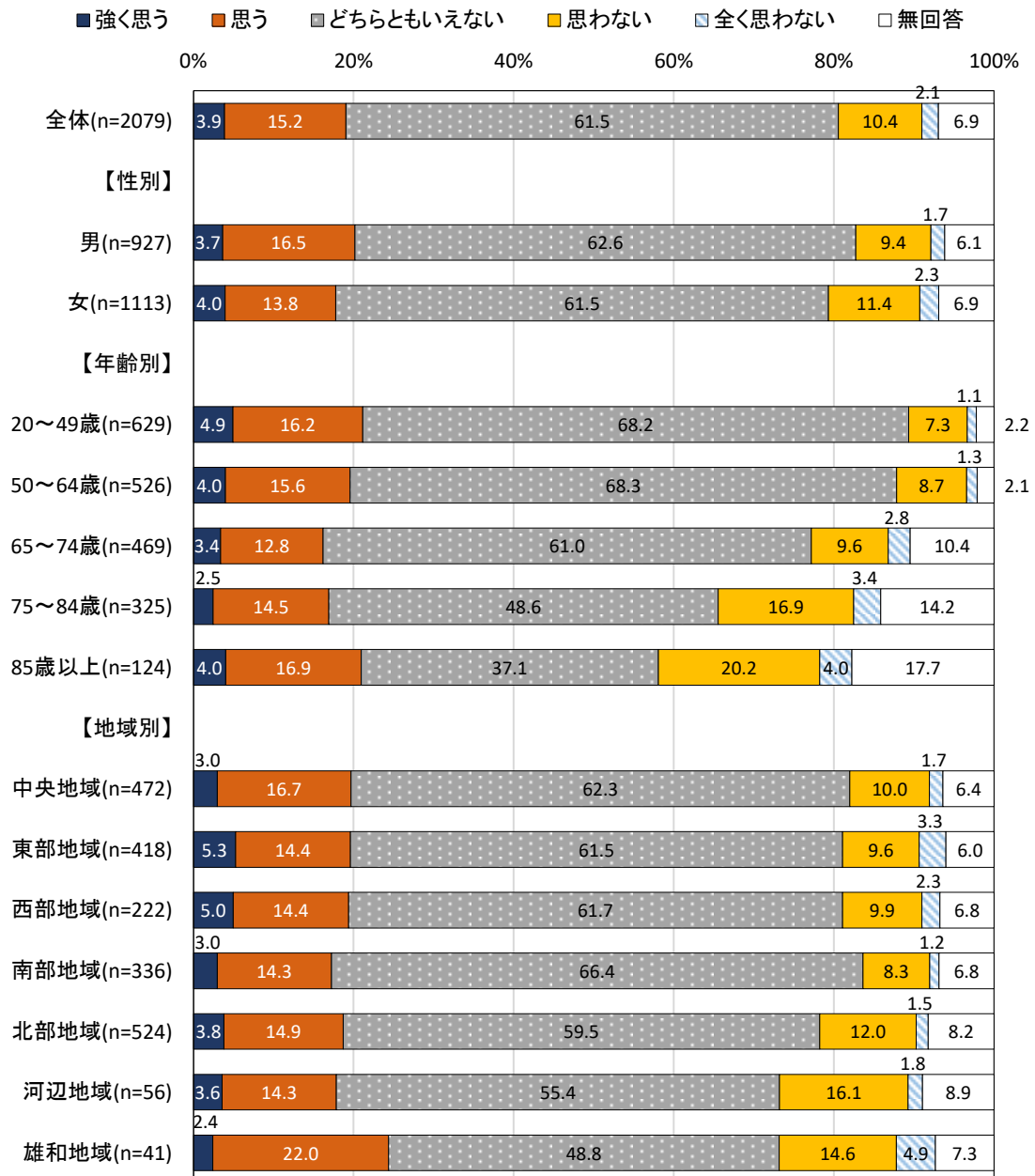


問 26 あなたは、適切な医療および介護・福祉サービスを自宅で行うために、次の点についてどのように思われますか。それぞれの項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

5. 見守り、食事、家事、外出等の生活支援サービスが不十分で暮らしにくい

「見守り、食事、家事、外出等の生活支援サービスが不十分で暮らしにくい」については、「どちらともいえない」の割合が61.5%と最も高く、“思う” (19.1%) が“思わない” (12.5%) の割合を小幅ながら上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“思う”が“思わない”の割合を上回っている。年齢別にみると、74歳までの各年代では“思う”が“思わない”の割合を小幅ながら上回っているが、75～84歳と85歳以上の両年代では“思わない”が“思う”の割合を上回っている。地域別にみると、河辺地域は“思う”と“思わない”が同率であるが、その他の各地域では“思う”が“思わない”を小幅ながら上回っている。



7. 趣味、地域活動、社会活動について

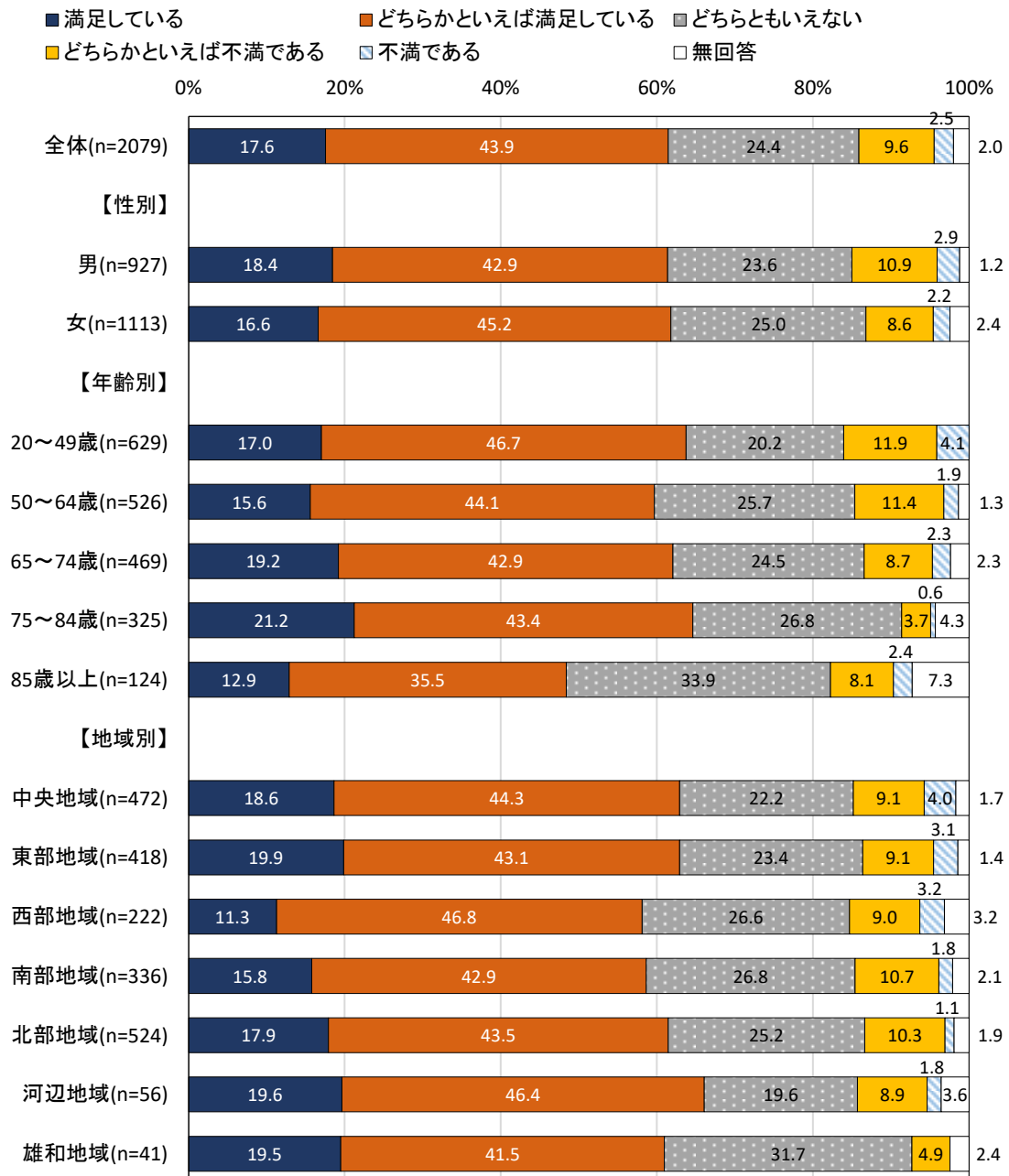
問 27 あなたは、普段生活する中で、余暇の過ごし方について、満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

普段の生活における余暇の過ごし方の満足度については、「満足している」(17.6%)と「どちらかといえば満足している」(43.9%)を合わせた“満足”(以下も同じ)の割合が61.5%で、一方、「不満である」(2.5%)と「どちらかといえば不満である」(9.6%)を合わせた“不満”(以下も同じ)の割合は12.1%となり、“満足”が“不満”の割合を大幅に上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“満足”が“不満”の割合を大幅に上回っている。

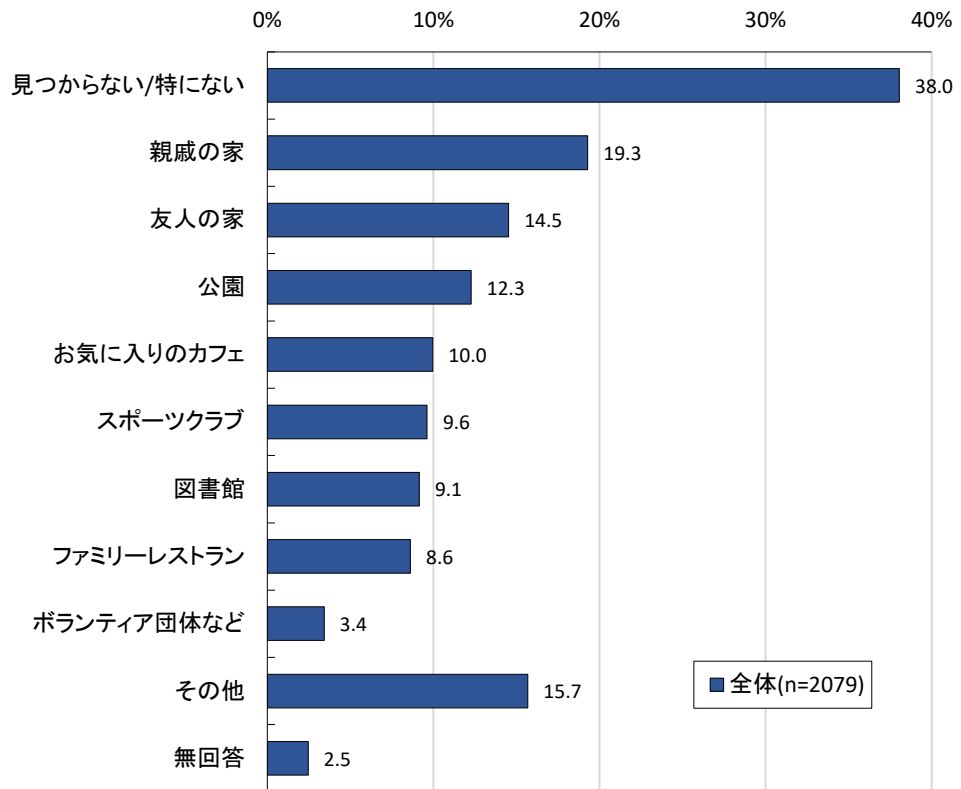
年齢別にみると、いずれの年代でも“満足”が“不満”の割合を大幅に上回っているが、85歳以上では“満足”が4割台と他の各年代に比べて低い割合となっている。

地域別にみると、各地域で“満足”が5割以上を占め、“不満”の割合を上回っている。



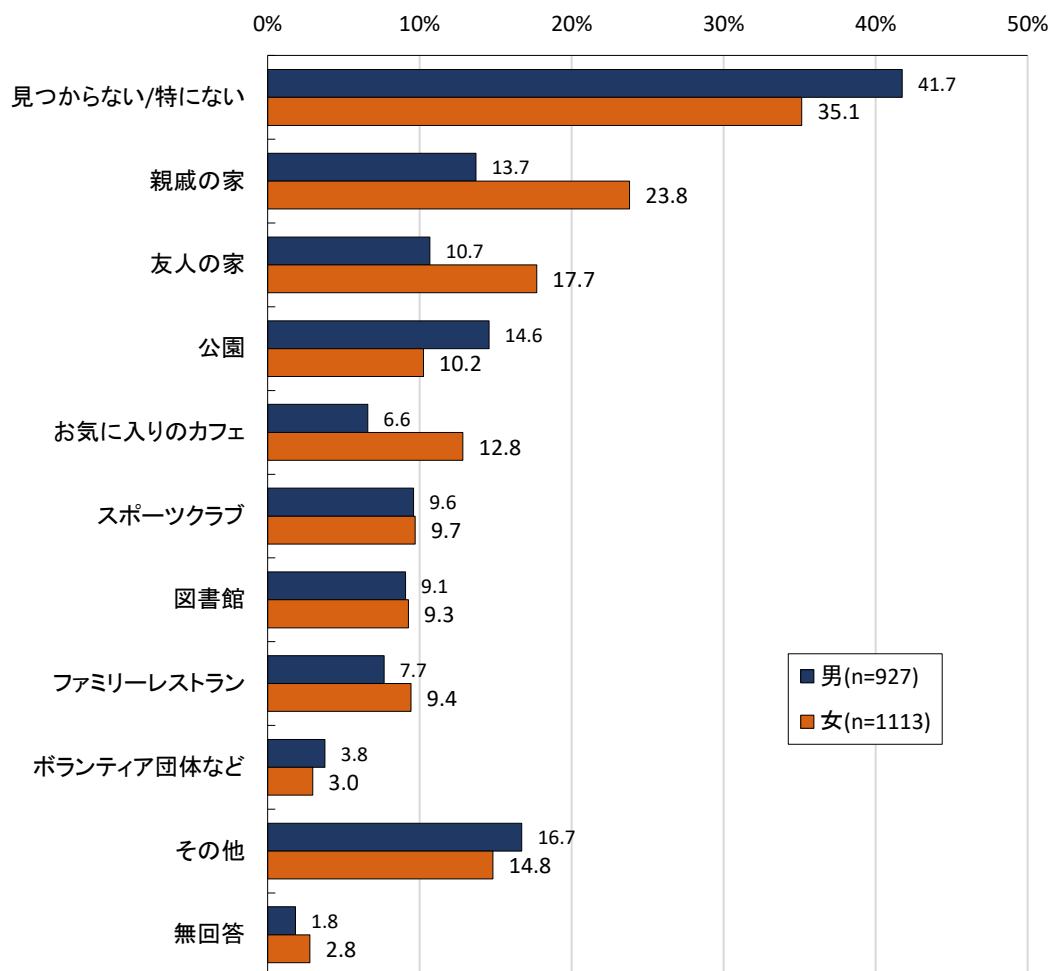
問 28 あなたは、自宅以外で定期的に行く居場所がありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで番号に○をつけてください。

自宅以外で定期的に行く居場所については、「見つからない/特にない」の割合が38.0%と4割近くを占めて最も高く、次いで「親戚の家」(19.3%)が2割近くで続いている。以下については、「友人の家」(14.5%)、「公園」(12.3%)、「お気に入りのカフェ」(10.0%)、「スポーツクラブ」(9.6%)などの順となっている。



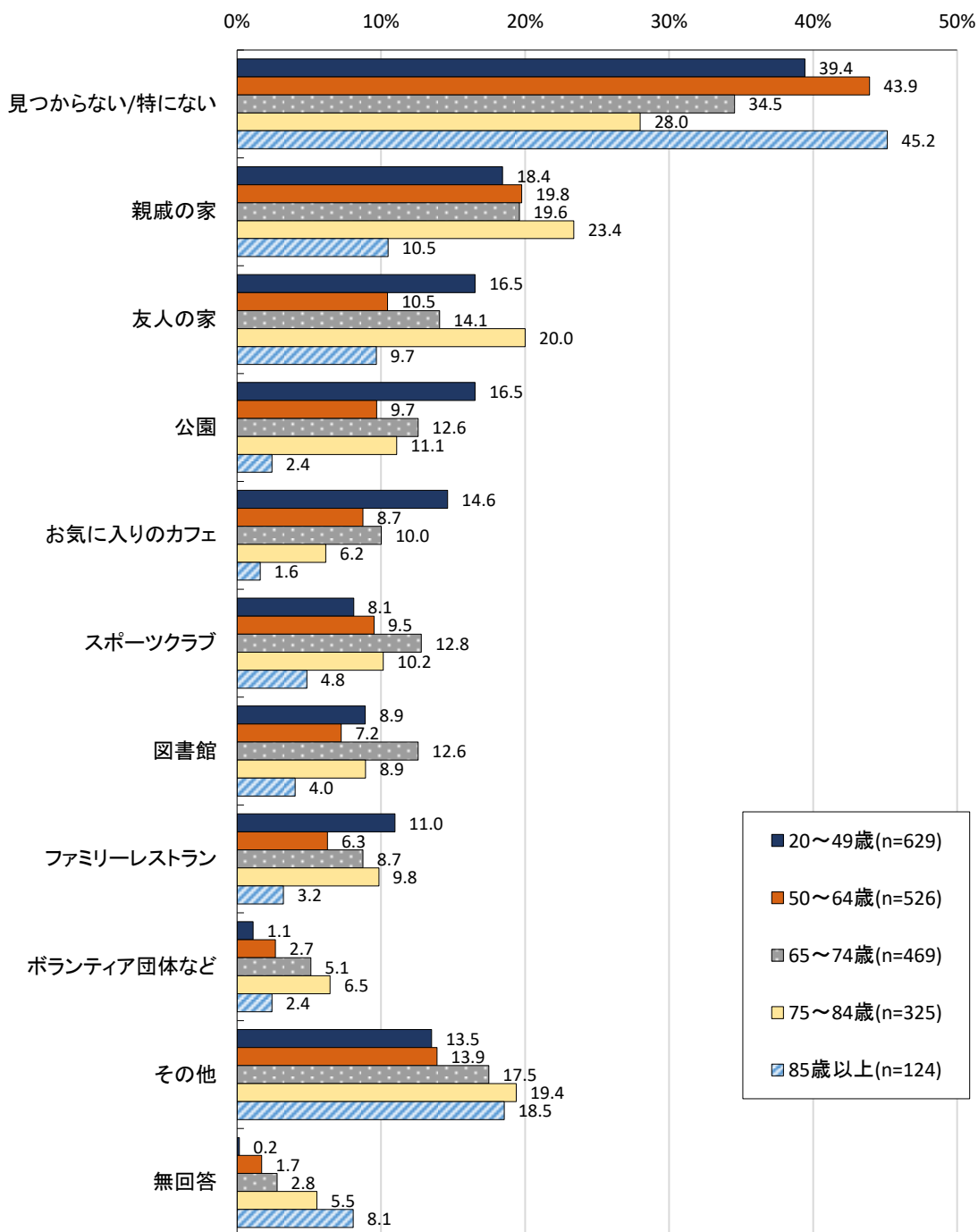
性別にみると、男女とも「見つからない/特にない」の割合（男性 41.7%、女性 35.1%）が最も高いものの、この割合は男性の方が高くなっている。以下については、男性は「公園」（14.6%）、「親戚の家」（13.7%）、「友人の家」（10.7%）、「スポーツクラブ」（9.6%）などの順で、一方、女性では「親戚の家」（23.8%）、「友人の家」（17.7%）、「お気に入りのカフェ」（12.8%）、「公園」（10.2%）の順となるなど、男女間で順位や割合に違いが見られる。

【性別】



年齢別にみると、85歳以上の45.2%を始めとして、いずれの年代でも「見つからない/特にない」の割合が最も高くなっているが、この割合は75～84歳で2割台と他の年代に比べて低くなっている。以下の項目については、「親戚の家」と「友人の家」では75～84歳の割合が他の年代に比べて幾分高く、「公園」と「お気に入りのカフェ」については20～49歳の割合が他の年代よりやや高いなど、年代間で順位や割合に違いが見られており、85歳以上の居場所については全体的に他の年代に比べて低い割合となっている。

【年齢別】



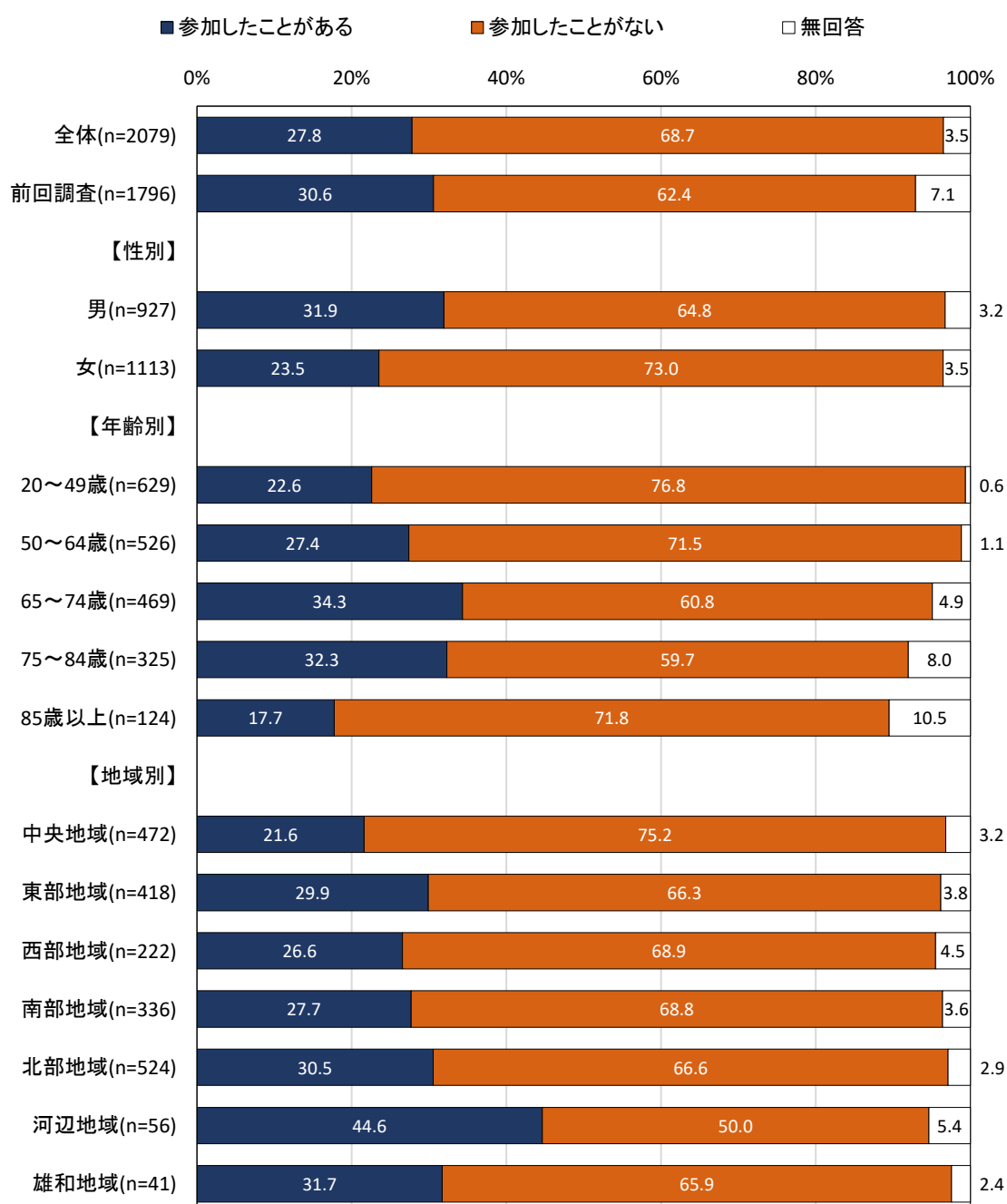
問 29 過去1年以内に、地域で行う活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

過去1年以内の地域で行う活動への参加については、「参加したことがない」が68.7%と7割近くを占め、この割合は前回調査（62.4%）に比べて6.3%上昇しており、一方、「参加したことがある」の割合は27.8%と前回調査（30.6%）より2.8%低下しているものの、前回調査と同様に「参加したことがない」が「参加したことがある」の割合を大幅に上回っている。

性別にみると、「参加したことがある」の割合は男性で3割台、女性で2割台と男性の方が高くなっている。

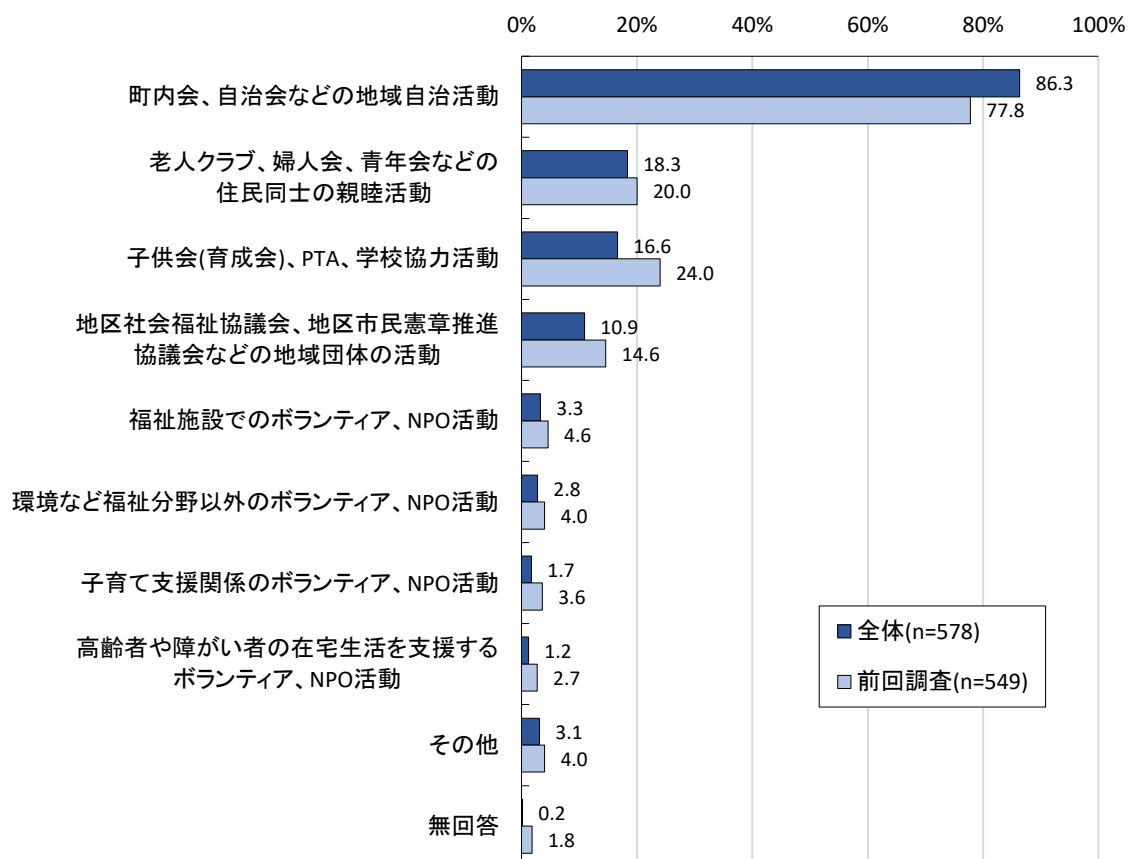
年齢別にみると、「参加したことがある」の割合は65～74歳と75～84歳で3割台と他の年代より高く、一方、85歳以上と20～49歳では2割前後と他の年代より低くなっている。

地域別にみると、「参加したことがある」は河辺地域で4割台と他の地域より高くなっている。



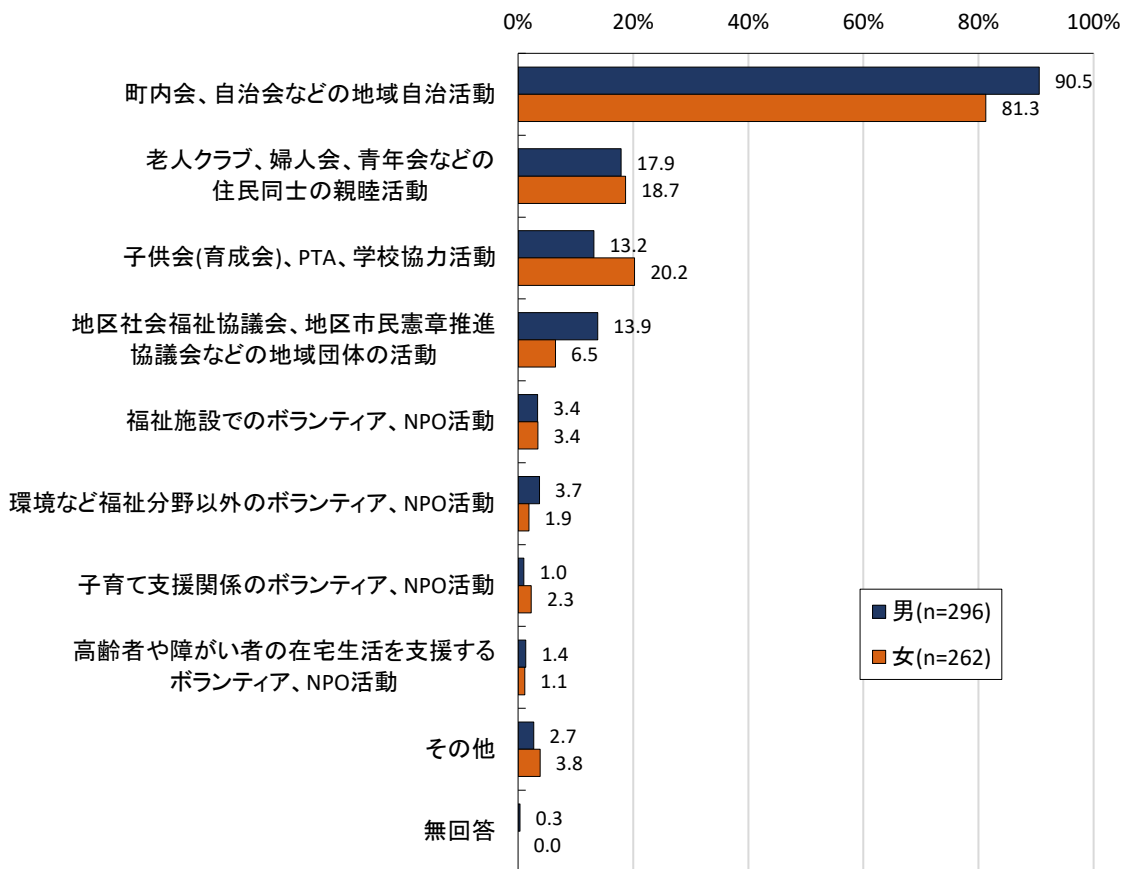
問 30 《問 29 で「1 参加したことがある」を選択した方》あなたが参加した地域活動について、次の中からあてはまるものすべてを選んで番号に○をつけてください。

参加した地域活動については、「町内会、自治会などの地域自治活動」が 86.3%と特に高い割合を占め、この割合は前回調査（77.8%）に比べて 8.5 ㊦上昇している。以下については、「老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動」（18.3%）、「子供会(育成会)、PTA、学校協力活動」（16.6%）、「地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会などの地域団体の活動」（10.9%）などの順となり、これらの割合についてはいずれも前回調査より低下している。



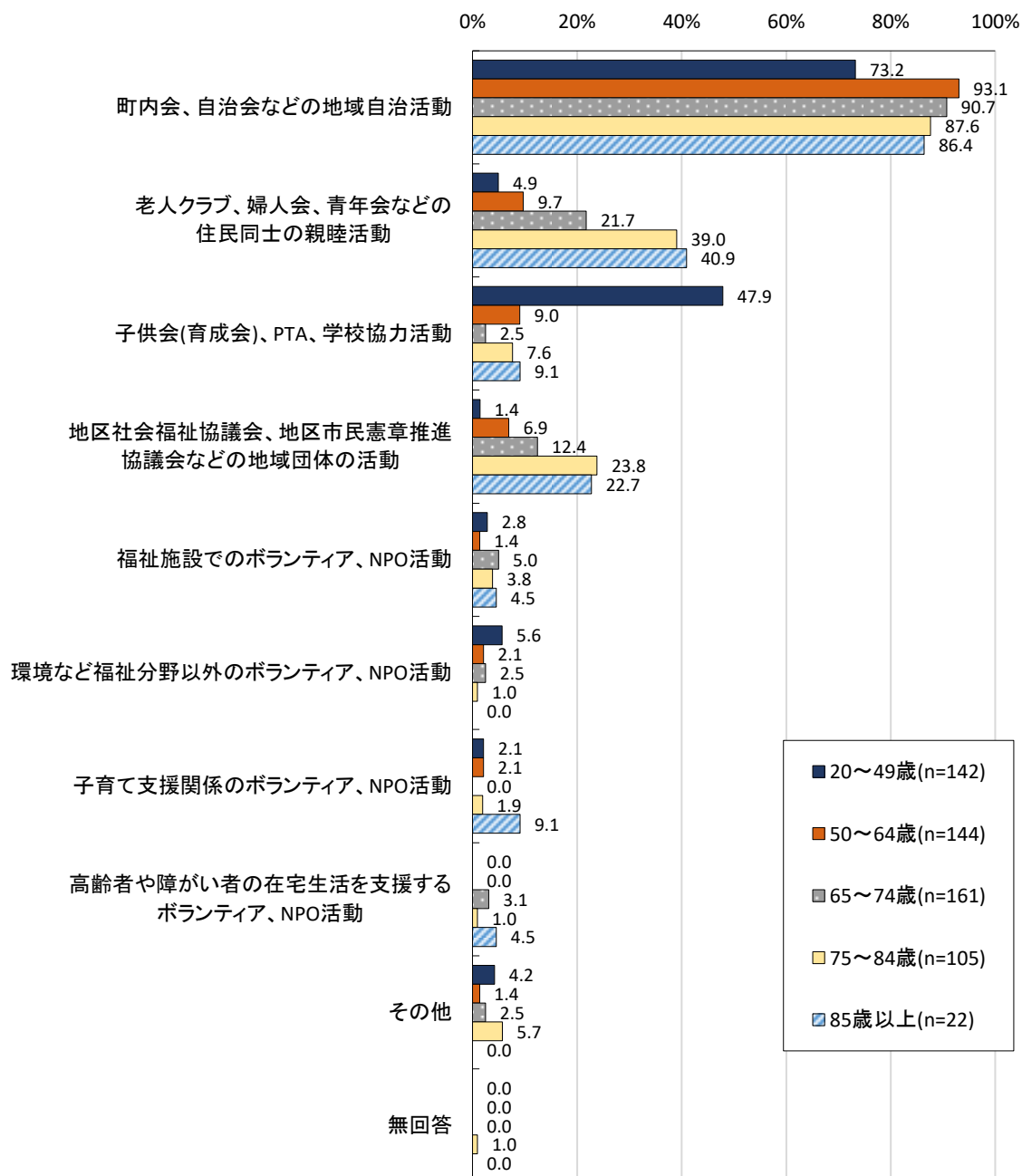
性別にみると、男女とも「町内会、自治会などの地域自治活動」の割合（男性 90.5%、女性 81.3%）が最も高く、この割合は男性の方が高くなっている。以下については、男性は「老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動」（17.9%）、「地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会などの地域団体の活動」（13.9%）、「子供会（育成会）、PTA、学校協力活動」（13.2%）などの順で、一方、女性では「子供会（育成会）、PTA、学校協力活動」（20.2%）、「老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動」（18.7%）、「地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会などの地域団体の活動」（6.5%）の順となるなど、男女間で順位や割合に違いが見られる。

【性別】



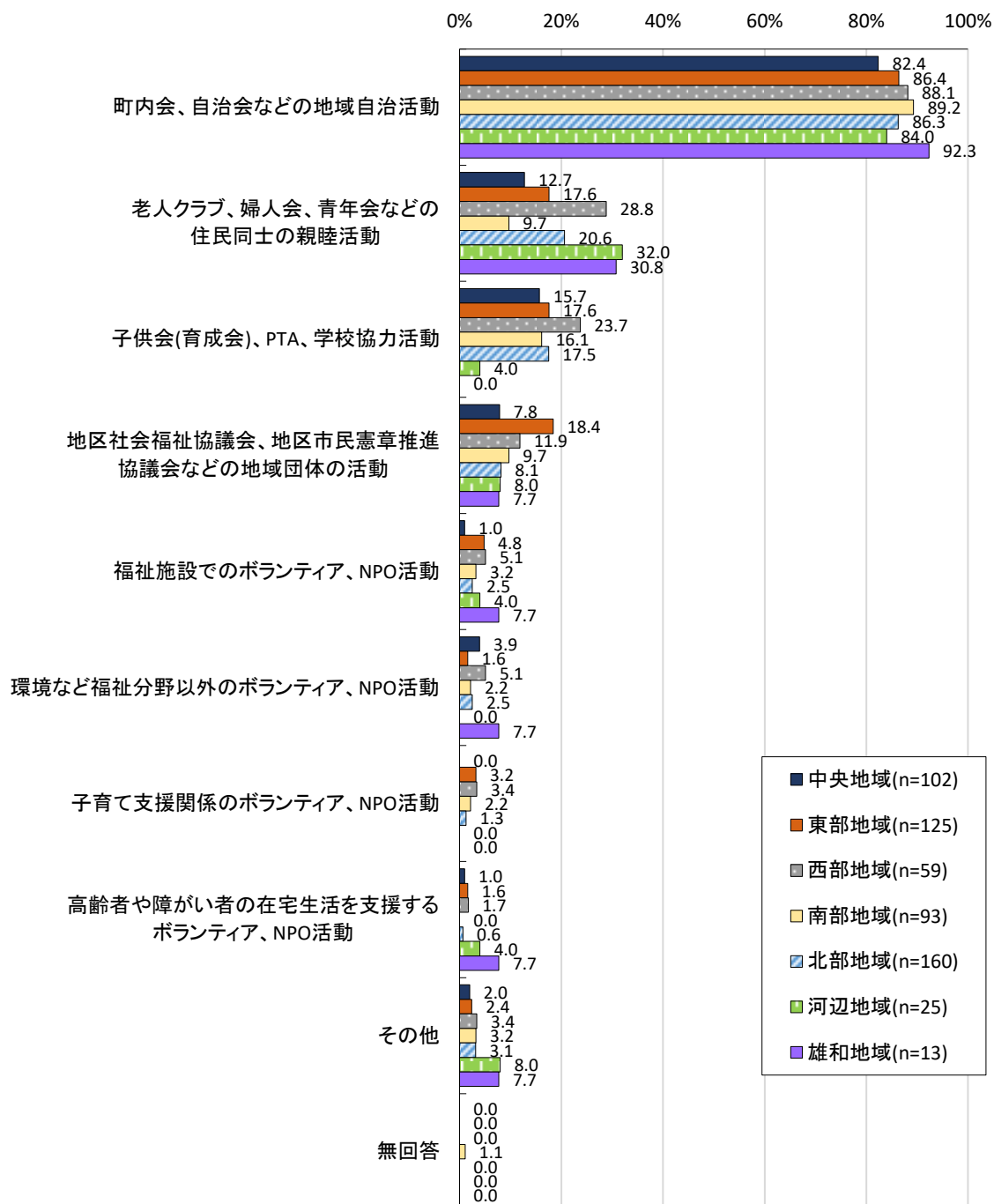
年齢別にみると、50～64歳の93.1%を始めとして、いずれの年代でも「町内会、自治会などの地域自治活動」の割合が最も高くなっているが、この割合は20～49歳で7割台と他の年代に比べて低くなっている。以下については、「老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動」と「地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会などの地域団体の活動」では75～84歳と85歳以上の割合が他の年代に比べて高く、「子供会(育成会)、PTA、学校協力活動」については20～49歳の割合が他の年代に比べて特に高いなど、年代間で割合に違いが見られる。

【年齢別】



地域別にみると、雄和地域の92.3%を始めとして、いずれの地域でも「町内会、自治会などの地域自治活動」の割合が特に高く、以下については、「老人クラブ、婦人会、青年会などの住民同士の親睦活動」は河辺地域と雄和地域、西部地域で他の地域に比べて割合が高いほか、「子供会(育成会)、PTA、学校協力活動」については西部地域で他の地域に比べて割合が高い一方、雄和地域と河辺地域の割合が低いなど、地域間で順位や割合に幾分バラツキが見られる。

【地域別】



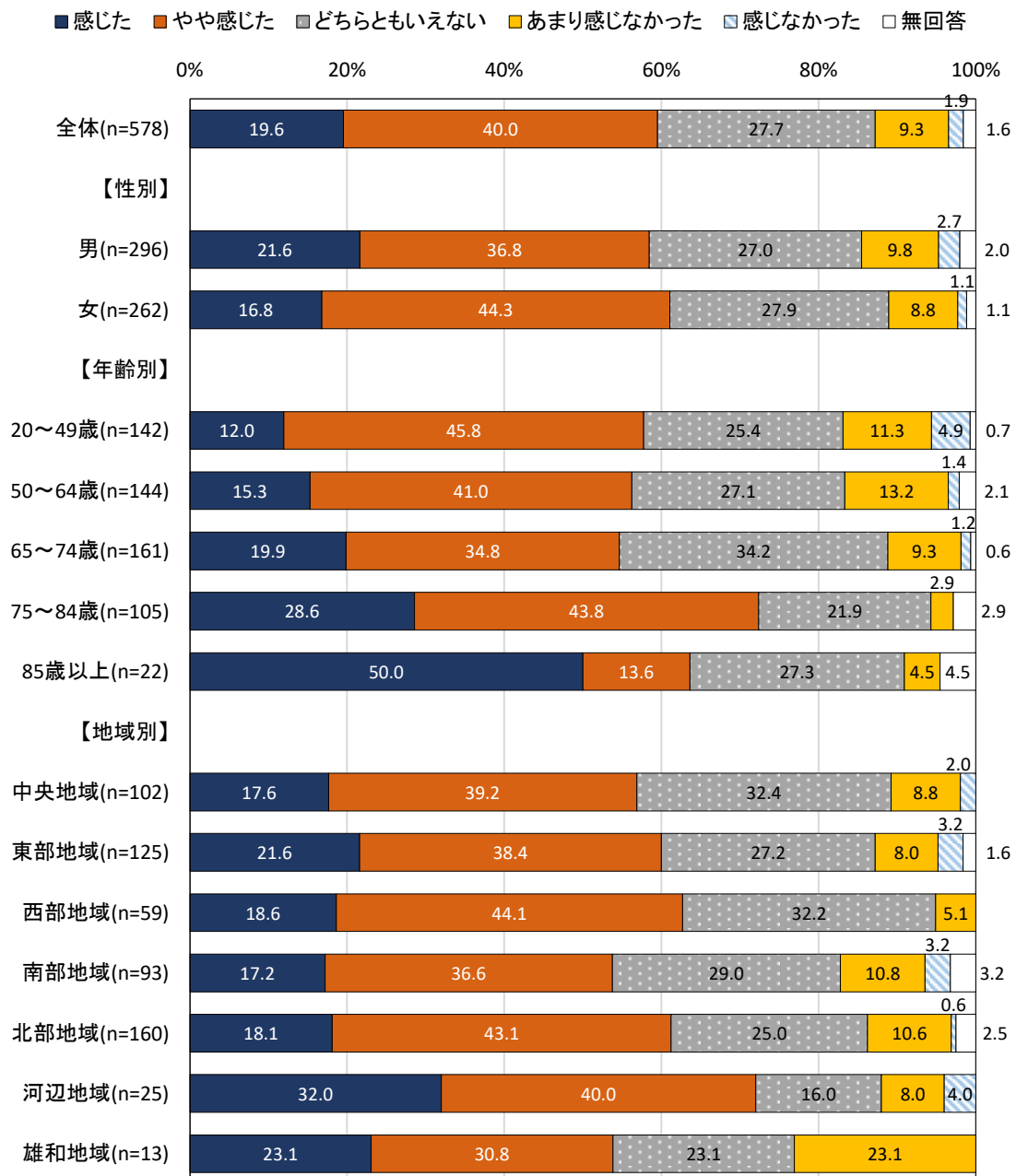
問 31 《問 29 で「1 参加したことがある」を選択した方》あなたが参加した地域活動について、やりがいを感じましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

参加した地域活動にやりがいを感じたかについては、「感じた」(19.6%)と「やや感じた」(40.0%)を合わせた“感じた”(以下も同じ)の割合が59.6%で、一方、「感じなかった」(1.9%)と「あまり感じなかった」(9.3%)を合わせた“感じなかった”(以下も同じ)の割合は11.2%となり、“感じた”が“感じなかった”の割合を大幅に上回っている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の割合で、“感じた”が“感じなかった”の割合を大幅に上回っている。

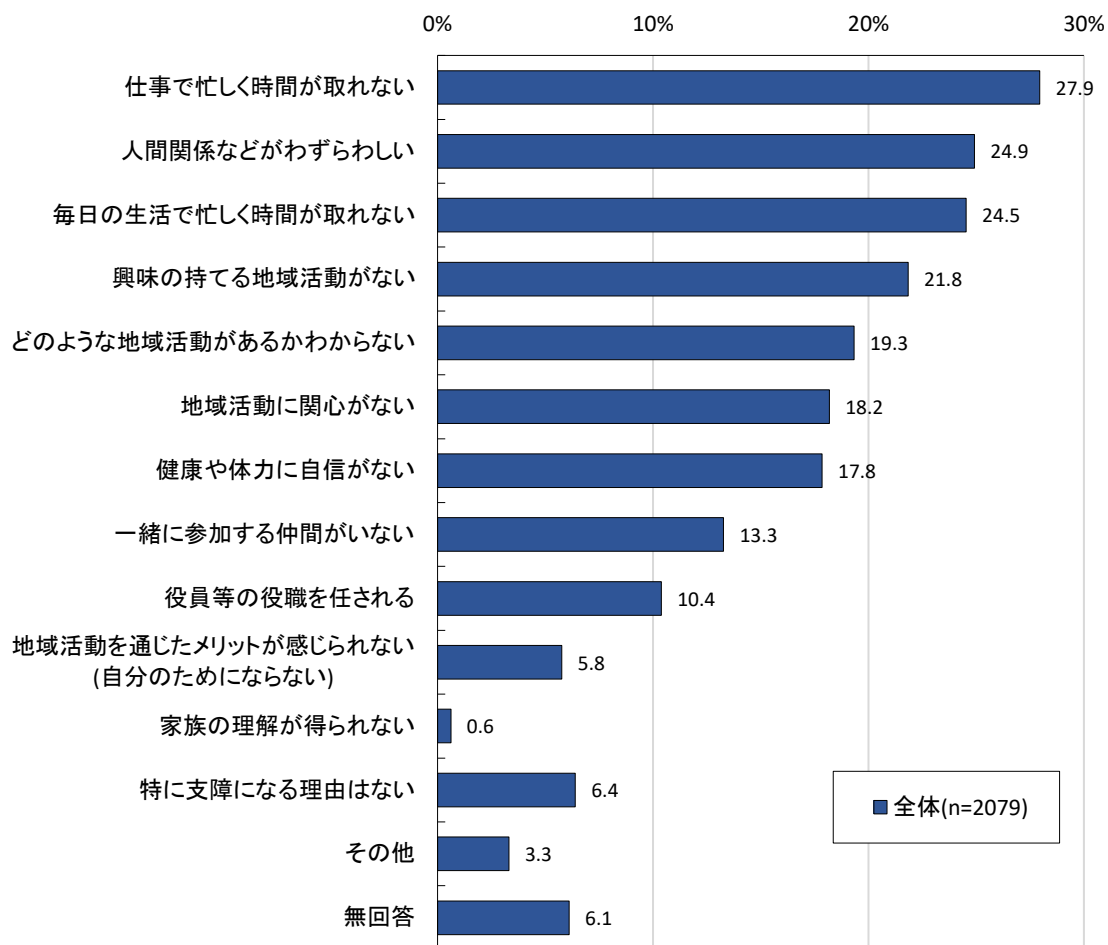
年齢別にみると、75～84歳の7割台を始めとして、いずれの年代でも“感じた”が“感じなかった”の割合を大幅に上回っている。

地域別にみると、河辺地域の7割台を始めとして、各地域において“感じた”が5割以上を占め、“感じなかった”の割合を上回っている。



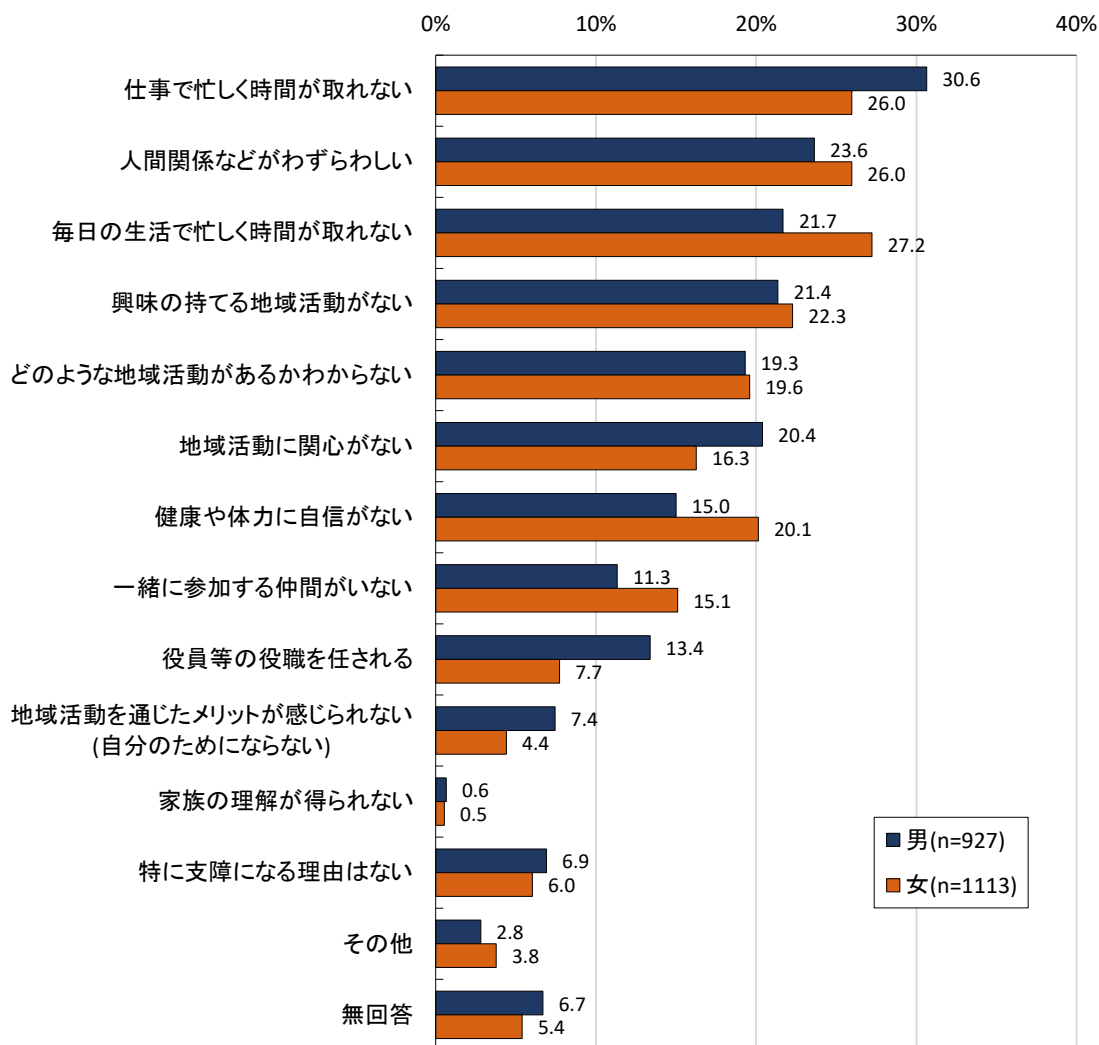
問 32 地域活動に参加するにあたり、支障になること（参加しない又は参加できない理由）について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

地域活動に参加しない又は参加できない理由については、「仕事で忙しく時間が取れない」が27.9%で最も割合が高く、次いで「人間関係などがわずらわしい」が24.9%で続き、以下については、「毎日の生活で忙しく時間が取れない」（24.5%）、「興味の持てる地域活動がない」（21.8%）、「どのような地域活動があるかわからない」（19.3%）、「地域活動に関心がない」（18.2%）、「健康や体力に自信がない」（17.8%）などの順となっている。



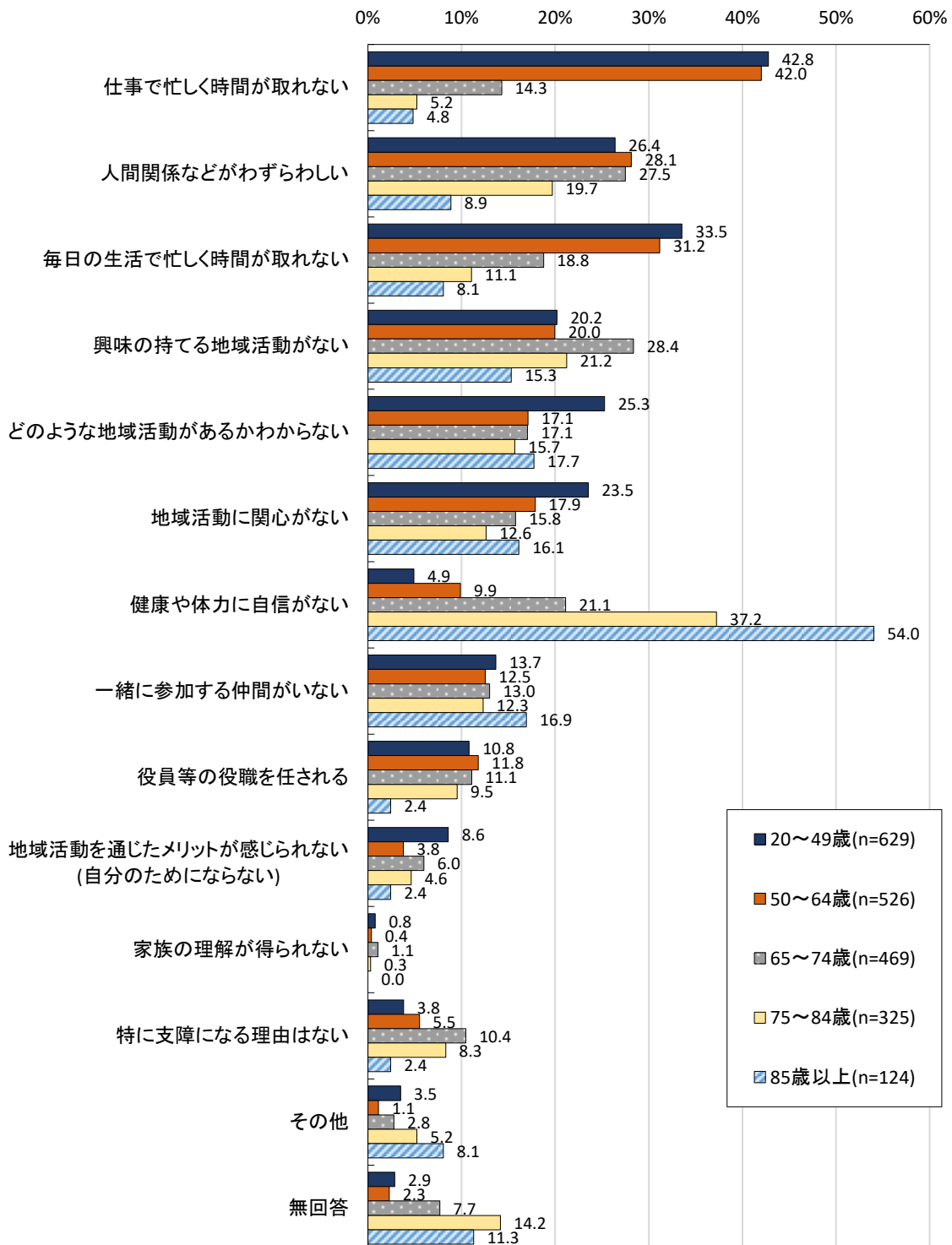
性別にみると、男性は「仕事で忙しく時間が取れない」(30.6%)、「人間関係などがわずらわしい」(23.6%)、「毎日の生活で忙しく時間が取れない」(21.7%)、「興味の手てる地域活動がない」(21.4%)、「地域活動に関心がない」(20.4%)などの順で、一方、女性では「毎日の生活で忙しく時間が取れない」(27.2%)、「仕事で忙しく時間が取れない」、「人間関係などがわずらわしい」(各26.0%)、「興味の手てる地域活動がない」(22.3%)などの順となっており、男女間で順位や割合に違いが見られる。

【性別】



年齢別にみると、「仕事で忙しく時間が取れない」と「毎日の生活で忙しく時間が取れない」では20～49歳と50～64歳の割合が他の年代より高く、「人間関係などがわずらわしい」は20～74歳までの各年代の割合が他の年代より高くなっている。また、「興味の持てる地域活動がない」は65～74歳、「地域活動に関心がない」と「どのような地域活動があるかわからない」は20～49歳で、それぞれ他の年代より高い割合を示し、「健康や体力に自信がない」は年齢が上がるにつれて大幅に割合が上昇するなど、各年代間で割合に違いが見られる。

【年齢別】



地域別にみると、中央・東部・西部・北部・河辺の5地域では「仕事で忙しく時間が取れない」が最も高い割合となったが、南部地域では「人間関係などがわずらわしい」の割合が最も高く、雄和地域では「健康や体力に自信がない」が最も高い割合となるなど、地域間で順位や割合に違いが見られる。

【地域別】

